京城日報

本紙定價 一箇月金七十五錢 一部金三錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之
電話番號

一月十八日夕刊 (朝刊と合せて八頁)

◇講和會議決定事項

十五日の講和會議には珍田大使も列席したるが當日決定せる事項左の如し(巴里電報)

一、各委員は分つ可らざる一體を形成するものなるが故に委員の數は會議の席上代表せられたる國家の地位に何等の影響を及ぼさざる事

二、各委員に廣大の權利を許可する事は各國をして其任意に選びたる各種代表者に自國の利益擁護を委任せしむる事を許容する事となる可し

◇最高軍事會議

最高軍事會議は十五日午後一時より二時三十分迄休憩したるが午前中の會合は講和會議の議事方法を議したり尚午後二時三十分會議再開クレマンソー、ピシヨン、ウイルソン、ランシング、ロイドジヨージ、バルフオアー、ソンニノ、珍田松井の諸氏出席したり(巴里電報)

◇講和會議々長

講和會議々長は佛國首相クレマンソー氏なるやウイルソン大統領なるや又會議を公開す可きや否や未定なりと(巴里電報)

◇ライン左岸中立地帶
＝佛國政府要求か＝

倫敦外交界より聞知するところに依れば佛國はアルサス、ローレン恢復以外ライン河左岸を永久に中立地帶と爲し軍略上の鐵道及び要塞の設置を禁じ且つ軍事上の中心と爲す事を禁ず可き要求を爲す可しと(倫敦電報)

◇英首相海洋問題成効

英國首相は海洋自由問題に就き非常の成功を收めたり該問題は講和會議開催さるゝも殆んど論議を要せざるものゝ如し(倫敦電報)

◇聯合國と露問題
近く調査委員を露國に送らん

聯合國は露國の國民を考慮に入れずに世界の平和を協議するも無効なる可く又露國問題は露國民自らの承諾と協調に依らずしては解決する能はざるより近く調査委員を露國に送る可しと(巴里電報)

◇ウ氏演說旅行

紐育來電＝聯合通信社員巴里發電に曰くウイルソン氏は歸國の上は米國々內に演說旅行を爲さんと考慮しつゝあるが右旅行は多分太平洋沿岸迄及ぶべしと(東京特電)

◇米海軍復員計畫

米國海軍復員計畫は陸戰隊兵を再び徵募し永久的服役に就かしむる爲め差控へ中なり之れ米軍隊を佛國より歸送の爲め獨逸商船を之れに當て米國水兵を之れに乘込ましむる爲なりと傳へらる(華盛頓電報)

◇伯林騷擾鎭定
各新聞通信の發行

海牙來電＝伯林に於ける騷擾は政府側の勝利を以て一先づ鎭定に歸したるが過激派の占領したる新聞社ウオルフ通信社等は政府軍の奮鬪する所となりフオルウエルツ、ベルリーナルターゲブラット等は十三日より發行を爲せり(東京特電)

◇獨軍大元帥任命

紐育來電＝瑞西チユーリッヒ來電に依ればヒンデンブルグ元帥は波蘭軍及び過激派の侵入を防止する爲め獨逸軍大元帥に任命せられたりと傳へらる(東京特電)

◇閑院宮御招待宴
殖產興業博覽會總裁の御資格にて

閑院宮載仁親王殿下には殖產興業博覽會總裁の御資格を以て十七日正午同會長樺山伯副會長道家慶務局長其他各理事主事並に原首相以下各國務大臣及び同會評議員の重なる實業家數十名を華族會館に御召の上御鄭重なる午餐を催させられたり當日殿下には午前十時半御出門青山別當中島御附武官を隨へさせられ同館に成らせられ御少憩後會場に臨ませられ令旨を賜ひたるが是れに對し樺山會長奉答を爲し終つて一同に午餐を賜はり一時半御歸館あらせられたり(東京特電)

◇外相實業家招待

內田外相は十八日午後五時より左記實業家數十名を官邸に招待する由なるが同夜は主として西伯利に於ける物資供給に關して懇談すべく席上高橋藏相より一場の演說ある筈なるが當夜は山本高橋兩大臣以外外務省より幣原次官埴原政務局長其他出席すべしと(東京特電)

▲早川千吉郎▲團琢磨▲串田萬藏▲石塚英藏▲藤田平太郎男▲安田善三郎▲小山健三▲池田謙三▲松方嚴六郎▲井上準之助▲森俊六郎▲神野勝之助▲嘉納德三郎其他

□新年歌御會始
御習禮

天皇皇后兩陛下には十八日午前十時より新年歌御會始を行はせられ御製御歌並に各皇族方の御詠進歌其他選歌を聞召さるゝに就き十七日午前十一時より宮中鳳凰間に於て御習禮を行はせられたり(東京特電)

◎監獄職員加俸額

明治四十二年統監府令第四十七號を以て發布されたる監獄職員加俸額に關する件中改正の件は二十日官報にて發布大正七年九月分の加俸より之を適用する事となれるが右は大正七年九月勅令第三百四十六號にて奏任及び判任待遇監獄職員給與令の改正に因り俸給の等級に異動を來し新舊著しき差異を生じ其結果改正の等級は加俸支給の基本額と一致せざるに至りたるを以て今回之を改正せるものなりと

◎金融組合改稱

金融組合令第三十一條第二項但書の規定に依る金融組合指令改正の件は二十日官報にて告示のこと、なれるが右は水原を華城に木浦を務安に光州を光山に馬山を昌原に元山を德源に咸興を咸城に夫々名稱を改め且芙江金融組合の次に黃澗を廣川の次に灑鳩を新寧の次に咸昌知禮を安康寧海及び禮安を加へらせたるものなり

◎內鮮船賃軟調
當局の實情調查

內地に於ける海運界は英米船の來航による有形無形の壓迫を受け運賃傭船料の下押しを續け景氣漸次閑散に傾き閑散船腹の餘剩少からざるを以て最近朝鮮方面の出穀を當て込み來航する者少からず殊に群山仁川方面は船腹過剩の狀態なるが從つて內鮮間の運賃も漸次軟調を示し積荷爭奪の競爭を出現するに至れり現に群山仁川の如き尼ケ崎等の協定は百石二百卅圓なれども近百五十圓にて積荷せし實例あり更に海運界一般の風潮は前途運賃の軟化を益々續けんとするより遞信當局にては命令航路運賃の關係上近狀調查を進めつゝある由

◎朝鮮電興成立期

數日前平壤府廳を經て總督府に出願せし資本金一千萬圓の朝鮮電氣興業株式會社は總督府の許可あり次第會社の創立事務所を東京並に朝鮮の二箇所に開設事務の進捗を期すべきが創立總會の開期は株式の申込み其の他法定の手續きを要するを以て許可後四五十日後となるべく勞會社の成立を見るは四月前後なるべしと觀測されつゝあり又總株數二十萬株に對する發起人並に賛成人の申込みは既に二十萬株を超過し居るため此の內より若干株を割いて公募に附するが如きは事實必要なきも各種の關係上一小部分の公募は避け難からんも尤もその株數等は發起人の會同意向等により決定すべきものにて未だ豫知し難し

◎鑛產輸移出狀況
昨年は未曾有の盛況

大正七年中に於ける朝鮮鑛產物輸移出額は左表の如くなるが元來朝鮮の鑛產物にして朝鮮內に於て消費せらるゝものは石炭の一部に過ぎず他は全部輸移出さるゝものなれば之を以て大體朝鮮の鑛產額と見るも差支なかるべし

▲朝鮮鑛產物輸移出額表

品名	七年輸移出數量	同價格	六年輸移出數量	同價額
金地金	—	七、〇三〇、四〇三圓	—	九、六三〇、八二四圓
銀地金	—	一一、三三〇	—	一四、八九〇
砂金	三〇三、七三二斤 四五〇、六六	一、五〇六、一一四 一三七、六六八	一三、八四九、〇三〇	五〇五、八〇三
鐵鑛	四、一七六、三五九	一、一五六、八〇六	—	二七九、三〇三
亞鉛鑛	二、三〇六、〇〇〇	五六八、〇九八	一、四四五、一七八	四四五、一〇九
重石鑛	一、七一三、〇九八	二、四四三、四四〇	二九、二六八、〇〇〇	三三三、九九七
黑鉛	三、七一七、八〇〇	一、三三四、四〇三	一、八四四、七六六	二、〇四六、二一五
石炭	一三〇、三一五噸	五七九、五〇一	二、二七〇、〇〇〇	一、五三六、一三五
硅砂	三、七五四	八八、四三三	一三三、九三一噸	四四七、三一三
其他の鑛物材料	—	四九四、八四五	一、八四三	六〇、七六三
合金銀粗銅	一〇三、九八〇、六九八斤	三三八、八二八、二三四	—	四四四、八〇三
銅(塊及錠)	五五、五〇三、八七四	三八八、七二一	四〇、二八、四二七斤	五一、一六〇、九二三
銑鐵	六九、六〇八、四一七	八〇三、一〇四	三、八四一、七三三	三、〇六八、四〇三
金屬及金屬製品	—	八〇五、一〇三	—	三三七、九八
合計	—	一三七、七五八、一〇一	—	二三五、〇九八、一一七

右に就き某氏は語りて曰く昨年の朝鮮鑛業界を一瞥するに何れも時局の影響を受けて躍調を呈し一進一退を免れざりしも要するに朝鮮の鑛業界は未だ基礎の固定せるものに非ざれば斯る動搖の生ずるは決して喜ぶべき現象と云ふ可からず然れども大體に於て斯界を刺戟し內地經濟界の好調に依り資金の投下亦尠からず之れを一昨年の鑛產額二千四百八萬一千百三十七圓に比する時は一千三百六十二萬餘圓の增進を示し之を朝鮮鑛業界の最も好景氣時代と稱されつゝある大正五年の鑛產額二千四百十五萬四千七百八十二圓に比するも一千三百五十五萬餘圓の增加にて未曾有の盛況を示せり今之れを個々の鑛物に見るに

▲金 は元朝鮮鑛產物の大宗にして他の諸物品の如く生產費の增加に伴なひ價格を引上ぐる事不可能なるものにて操業上甚だ困難なる場合に立ち至り殊に中以下の鑛業者は最も打擊を受け採算上操業を繼續する能はず事業を中止する者を出し豫定の產出額を得る能はず其結果久原製鍊所の事業に影響を來し合金銀粗銅の產額は前年に比し百四十二萬餘斤の減少を示せり

▲黑鉛 黑鉛は昨年六月以來米國が黑鉛の輸入禁止を行ひ又內地に於ける滯貨激增し輸送の圓滑を缺き價格を低落せしめ休山の已むなきに至りたるもの多し然れども前年金及び黑鉛を除けば他は總て好影響を受けざるものなく就中鐵及石炭は未曾有の盛況を呈せり

▲鐵 鐵は戰亂以來外國よりの供給杜絕し價格は異數の暴騰を示し從つて斯界を刺戟し既稼行鐵山にありては益々其の規模を擴大し新に採掘を始むる者相踵ぎ且つ又兼二浦に於ける三菱製鐵所の事業開始と共に七月以來出銑の運びを見昨年に於て初めて朝鮮鑛產物中に銑鐵一千五百四十萬圓の產額を加ふる事を得たるは喜ぶべき現象とす

▲石炭 石炭は鐵と同樣の盛況にて這は世界的の缺乏と共に需給關係に依り價格の騰貴は出炭を加したるは事實なるが輸出數量の前年に比し減少せるは一方輸入著しく減退し鮮內の消費に充てられたるが爲めなり

◎朝鮮統治の一新時期(一)
大正七年に於ける施設狀況

緒言

總督府設置以來茲に八年、財政の獨立は漸く實現に近づき補充金を漸減せしもの巨額に及ぶと雖も歲計の狀況は益々順調の域に達し逐年諸般開發の施設、着々其の步を進め時局の好影響と相俟ちて產業貿易の發展を促進せり、西伯利の擾亂と物價の暴騰とは相踵ぎて民心に反映する所なきにあらざりしと雖も帝國の威武は以て群氓の信賴を繫ぐに足り穀價調節の施措、能く物情を緩和し全道靜謐なるを得たるのみならず歐洲休戰の成立、亦著しく財界に影響する所なく茲に戰後の第一春を迎へ朝鮮統治の一新時期に入らむとす、以下項目を分ちて過去一年間に於ける重要なる施設の梗概を摘記すべし(朝鮮總督府調)

中央行政

官制は大正七年に於て改正せし所尠からず、總督府に在りては從來の臨時土地調查局の事業終了せしにより更に精密なる地籍臺帳の調查を遂げ殖產興業の伸張に資する爲め五月殖產局商工部に地質調查所を置き視學官の定員を擴充する爲

▲視學官を一人增員し、其の他定員の按排を行へり、又內地と步調を一にして國勢調查を行ひ且統計事務を統一刷新する爲同月總督府官房總務局に臨時國勢調查課及統計課を新設し朝鮮現行關稅据置期限の滿了に先ち時勢に適應せる新關稅制度を調查設定するの目的を以て同月度支部に臨時關稅調查課を設置せり、所屬官署に在りては三月官立學校に水原農林專門學校、咸興高等普通學校及び龍山中學校を加へ四月道に視學、府郡に技手、京城府に支廳を置くを得ることゝし爲し釜山に牛疫血清製造所を置きて同地に於ける農商務省所屬の同製造事業を繼承し五月總督府に林野調查委員會を設け

▲林野所有權に關する裁決 又は再審の事務を開始し十一月土地調查の完結に伴ひ臨時土地調查局及び道地方土地調查委員會を廢し高等土地調查委員會に事務局を置け、其の他人員の整理、增置を行へるもの多し、職員の任用に關しては一月及び五月の兩回に府尹郡守、島司及び府事務官並に總督府醫院事務官等特別任用の途を啓けり、既に朝鮮人官吏の學識技能向上し生活狀態亦面目を革めたるに依り六月特に急要ある朝鮮人たる判任官の待遇を改善し七月新に朝鮮人に對する恩給制度を設定せり、殊に十二月李王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚約成立したるは內鮮官民一般の慶幸とする所なり

◎鮮銀と下關

朝鮮銀行にては下關支店新設の申請を總督府經由大藏省に提出中なるが最近大藏省にて大體に於て異議なき旨の內報ありしやの說あり勞その設置許可も遠からざるべく前途の豫測つき次第支店長就任に內定せる井上正愛氏(營業課長)を發ぜられ同地に出發する事となるべしと

◎仁川電力供給中止
遞信當局談

京城電氣會社の經營する仁川電燈の電力供給を遮斷するに至り同地の問題となれるが右に付き遞信當局は曰く京城電氣會社仁川支店の

▲發電機は 優秀のものたりし舊臘來數年間晝夜その運轉を繼續し殆ど故障を出さざりしによりても之を知り得べし然るに舊臘末遞信局の技術官檢查の際發電機なる者に注意したる所當務者は何等異狀なき旨を答へしも該技術官は到底當然ならずと觀取し停電の上一應檢查を行ふやう注意し歸京したるがその後支店にて檢查の結果內部の破損を發見直に京城白上工場に修理を託すると同時に會社は

▲豫備汽鑵 を以て舊臘末以來發電を繼續しつゝあり勞燈用以外の動力供給を全く停止し一般工業家に不便を與へつゝあるなれども修理中の破損汽鑵は遲くも二十三日までには修理出來すべしとは會社當事者の確言に付きその復舊期も下旬を過ぐる事はなからん尚ほ右汽鑵の故障は遞信當局の注意にて早く遲れしならんには漸次損害を擴大せしなるべく發見早かりしは會社のため幸なりき

◎仁川期米硬調

十八日前場の仁川期米は大阪東京神戶高に刺戟され先限寄り附き三十四圓七十錢高値三十四圓八十六錢止め三十四圓七十六錢と強硬を呈して散會せり

◎殖銀店長會合

朝鮮殖產銀行にては十八日中村理事太田に赴き同地に於ける各支店長を召集し米穀金融其の他業務に關する打合せを行ひたるが十九日を以て終了の豫定にて付中村氏は同日歸城すべしと

◎京電の總會

京城電氣會社にては來る廿七日東京に於て定時株主總會を開き大正七年下半期決算並に益金分配案等を附議すべく本專務は來る二十日頃東上の豫定なるが配當案は年一割なりと

◎京城下水工事に就て(上)
金谷府尹談

京城府下水改修工事に就ては大正六年度に於て實施調查を遂げ其の筋とも交涉を重ねたる末府協議會の協贊を經て愈々本年度より向ふ七箇年の繼續事業として工事に着手する事に決定し幾に總督府及び京畿道に對し補助申請を爲したりしが本年度に對しては既に夫々

▲承認を得 たるを以て昨年十一月より工事に着手し今や鋭意其の進行を計り居れり而して斯の如く着手の後れたるは設計變更に就き調查研究上暇からざる苦心を要したるが爲なり然るに本件に就ては過般來新聞及び通信等にも時々報道せられ府民中其成行に就ての眞相を聞かむとする者少からざるが故に此の時機に於て右下水工事設計變更等に就ての概要を公けにするは敢て無用の事にあらざるべしと信ず抑も京城下水工事は大正七年度より同十一年度迄五箇年間の繼續事業として實施することに決定し居りたるも大正六年度に於て之れが

▲實行調查 を遂げたる結果降雨量及び雨水の流出量等以前の調查に比し著しく增大したる物價騰貴の影響を受け材料及び勞力費を增したる等工費に多大の增額を見るに至り當初の設計にては到底遂行し能はざるを以て玆に設計變更の必要を認め府に於ては協議會の諮問を經て總督府及び京畿道に對し設計變更に就ての補助申請をなしたるなり設計變更の大要は淸溪川及び旭川の二大幹線及び之れに流入する大小十三の支線を改修するものにして淸溪川は景福宮附近より高陽郡京元線鐵道橋附近に至る三千二百五十二間を現在の川床より深さ四尺餘凌渫し幅員の凸凹を整理し兩側の石垣を修築し旭川は西大門驛附近より下流淸溪江に至る千五百五十三間を或は浚渫し若くは幅員の

▲整理を施し 屈曲甚だしく流水の疏通惡しき處は新川を開鑿し又支線は延長六千四百六十五間にして其の一部分は暗渠とし一部を明渠となるものにして之が實施の順序は工事の都合其他緩急を圖り施行する手筈なり

◎福井縣人會新年宴

福井縣人會にては來る廿二日午後六時より淸華亭に新年宴會を催し役員の改選を行ふ由

◎訂正

十八日朝刊所載總督府新營舍の工事請負者中其の理由として請負者が解約を申し出でたる樣記載せるは錯誤にて右は龍石工事を直營とする關係上總督府より解約せるものなるにより茲に訂正す

人事消息

▲折田貫次氏(國民新聞記者) 十八日入城巴城館へ▲枝保二氏(同上)同上

▲宮部常一氏(同上)同上

▲松木大佐 龍山步兵第七十八聯隊長より陸軍省兵器局副官に榮轉せる步兵大佐松木直亮氏は十八日朝龍山出發內地に向け赴任の途に就けり驛頭には師團司令部及各隊の將校及同僚官吏多數の見送りありたり

▲鍋島炒治氏(鮮銀檢查役) 令姉逝去に付十八日夜若くは十九日朝夫人同伴歸省すべしと

▲工藤壯平氏(總督府總務課長) 岡山へ歸省中の處十八日午前九時二十五分南大門驛着歸城

▲大塚常三郎氏(總督府參事官) 今回令に依り委員として出席の爲め十八日午前八時四十分南大門驛發東上

▲田中玄黃氏(平壤高等普通學校長) 本月下旬平北道に開催の公立學校長會議臨監の爲義州へ出張を命ぜらる

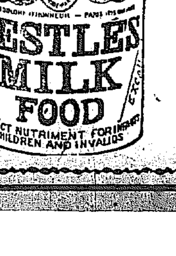
八面鋒

◆伯林の政變も遂に反政府派の敗北となり、エベルト政府當分支持さるべしと傳へられ、或はスパルタカス團は再び起ち能はざるべしとも傳へらる。形勢は一變せしが如けれど、變化は固より逆轉し難し、然ども今日の處、政府側の優勢なるは事實なるが如し。如何となれば伯林には早くも、英米の官憲駐在して、エベルト政府を援助しつゝあり、既に獨逸の內政干涉をなしつゝあるが故也。

◆伯林の生命は今や英米佛の掌中にありと謂ふも非ず、獨逸は聯合國の指圖をなしたるの觀あり。最早休戰中なり、事實に於て獨逸は城下の盟を示する處、命ずるが儘のみ。其處に何等の反抗も、何等の評論も許さざるべし。然れども之れを以て未だ絕對の樂觀は許さず。見よ、二萬の波蘭軍が伯林に向つて進擊しつゝあるに非ずや、露國過激派は、獨逸過激派と通じて、其の機を求めつゝあるに非ずや。獨逸の前途は未だ未知數に屬す。

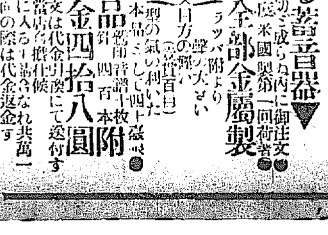
◆ウイルソン君は、過激思想を阻止するものは、武力に非ずして食料なり、食料は實に全歐洲に於ける形勢を左右し、講和を解決するものなりと云へり。然り、獨逸の缺乏せる食料は、食料の缺乏は想像以上なるが如し、過激派思想の傳播も、食料缺乏が與つて力ありとする觀察は、何れの方面にても一致するが如し。國民生活の根本問題に無省察なる爲政家が、古來常に命の悲劇を誘起せしは史の示す也、思はざるべからず、稽へざるべからざる也。

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖產銀行
頭取 三島太郎
電話長六〇一四番 營業振替貯金口座京城二〇九番 道金庫振替貯金口座特一二三番
支店 開城、淸州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江景、裡里、全州、群山、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、筏橋、濟州、晉州、統營、馬山、釜山、大邱、浦項、金泉、尙州、安州、義州、新義州、博川、宣川、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、兼二浦、鏡城、城津、咸興、元山、北靑
右の外內地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

ネッスルミルクフード
玆に郵便切手金十錢封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候
年月日 住所 氏名
橫濱郵便局私書函第三〇四號 ネッスル及アングロスヰス煉乳會社行


小兒・虛弱者及老衰者用强壯營養物 肺病患者の福音!! 諸師諸氏の御推薦を蒙れり
左記申込書御切拔の上御姓名御記入金拾錢郵券(送料包裝費として)御封入被成下候はゞ見本包壹個御送附申上可く候

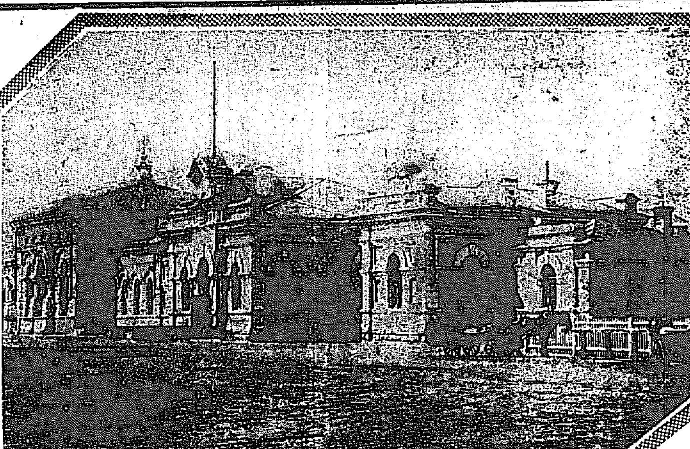
東京火災保險株式會社 大阪海上火災保險株式會社 つちやたび並にいろはたび 朝鮮代理店 京城本町三丁目
貿易商 雜貨商 藤富國太郎商店 電話二〇八番 振替京城一七八番

▲未だ嘗て見ざる蓄音器▼
全部金屬製
●目下各地より御注文殺到の爲め今度米國製第一回荷着●
特徵 一ラッパ附より聲大きい 一目方の輕い(定價百圓)
景品 音譜十枚 本品と四十本附
提供特價 金四拾八圓
御注文は代金引換にて送付す 御注意 御氣に入らざる場合は代金返金す
新輸入

輸入元 大阪市東區內本町二丁目松屋町東入 竹隅貿易商會

朝鮮中學・高等普通學校・商業學校・女子高等普通學校 入學試驗問題集
朝鮮學術研究會編 發行所 京城本町 ウツボヤ書店
大正七年度 四六版二百頁 定價金八十錢 送料四錢
入學の榮冠を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
取次販賣所 ▲大阪屋 ▲岩松堂

▲軍隊拂下被服類▲
京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店
營業品目 紺服、茶褐絨、襦袢、外套、馬具、防寒具用品、作業服、小倉服、各種袴、手套、毛布、堅牢靴、其他拂下品一式

時間表
大正七年七月一日改正施行



◉雪のオムスク停車場＝金谷從軍記者撮影

◎一望萬里月下に横はる……

エルマークの要塞跡

西部西伯利の大都オムスク市（一）

ウラル戰線を控へて劍光帽影の都

オムスクにて 從軍記者 金谷眞

西部西伯利の大都會、オムスクに着いた晩は屏風のやうなお月さんが出た、廣い市街の屋根から、高いお寺の塔から、遠い白樺の林から、だん／＼と中天に昇る寒月の影は旅人の心をして自から傷ましむるものが無いでもなかつた、廣いイルチシュ河は氷結して何處が岸やら流れやら、一望萬里、青い月光の下に輝いて居た『明月天山より出づ……』むかし支那の遼西トルキスタンあたりに出た兵士は胡笳の曲に胆を斷つの思ひで遙に東方を望んだではないか、自分も今東經七十何度のオムスクの月を仰いでゐる、併し天山に明月を仰いだ時代とは小さい地球がなほ狹くなつた、更にモスクワの月ペテログラードの月を日本の兵士に仰かせたい、一二個師團を繰出してワイ／＼云ふやうでは第一成吉斯汗から笑はれても仕方がない……オムスクは今西伯利及び歐露の一部を統轄する西伯利政府の所在地である、而してまたウラル戰線後方部隊の總司令部のある處である、人口は以前十五萬を稱せられて居たのが、最近では歐露からの避難民を合せて五十萬人を算へられて居る、それで宿屋は勿論大入滿員、街の家こいふ家も悉く人で充滿、中には穴居の露人もあると聞いた位である、街は停車場から三露里のところにある、此の間は汽車が三十分毎に往復してゐるが昇降になか／＼不便を感ずる、曾て加奈多の某會社に註文したといふ市街電鐵が出來たら助かる事であらうと思ふ、街の入口停車場前には獨立した堂々たる建物がある、これは以前オムスク鐵道會館であつたが今では部屋の一部を西伯利軍司令部に充て、居る、更に北方に步を進めると西伯利政府のお役所が多く外務省がある、幼年學校がある、お寺がある、街は却々堂々たる建物が揃つて居る、其の中ウファに出來た全露政府の五統領の役所といふのを見物したがその夜の中に陸海軍大臣コルチヤク中將が五人を捕縛してクーデターを行つたといふ號外が出た、新聞は急に左黨のものが潰されて『露國軍』と題するものが發行さるゝ始末、何れ一悶着はあらうと豫想されて居る

街はリユービンスキー大街といふのがオムスクの銀座で橋を渡ると兩側に堂々たる店舗がならんでゐる、而して都にウラルの戰線を控へたとて露國の西伯利軍及び哥薩克兵の劍光帽影と、それにチエツク軍、英、佛、伊太利軍の往來を見受ける、オムスクは今西部西伯利に於ける政治、軍事、經濟上の中心となつて居る、橇を走らせつゝ市街の其處此處を一巡して廻れば全市は可成りに廣い地區にある、街の傍をイルチシユ河（オビ河の大支流）が流れて居る他に、中央を横斷してまた一つの流れがある、氷結した河面にはイルチシユ河航行の大小汽船が船腹現はに冬籠して居る、リユービンスキー銀座通りの他は概ね平屋建の家が多いやうに見受けるが露西亞のは大概地下室を有つて居るから實際は二階建とも云ふべきであらう、街の中央には古いむかしの要塞の跡がある、想ふにこれも西伯利征服の英傑エルマーク時代（今から三百二十五年前）に中央亞細亞から此の方面の韃靼人と戰つた所であらう、現にエルマークが陣頭に翳したといふ軍旗は只今でもオムスクの寺院にある、エルマークは最初今のタボーリスク附近のシビール城を陥れ更に長驅して韃靼の王將庫程汗を追うたのは此の附近であらう、イルチシユの流れを紅に染て哥薩克と韃靼の激戰した光景は有名な露西亞の畫家スリーコフ氏の筆によつて世人の知るところである、またエルマークを記念する爲めには此の地に第一哥薩克エルマーク聯隊なるものがある……オムスクの事は曾て此の地に流謫されて居たとのある文豪ドストエフスキーの筆によつて詳であるが、今はその時代とは全く變つて居る

◇詠進歌二萬

＝歌御會始の儀

今十八日選歌披講さる

今十八日 兩陛下臨御の上宮中鳳凰の間に於て御歌會行あらせらるべき新年歌御會始の詠進歌數は違式又は締切後到着の分を除き御歌所に於て十六日宮相以下所長、寄人參候等の總會に附議せらるべきもの二萬七千餘首と決し其中より百五十餘首の秀逸を選拔し尚精選して御前披講の光榮者を決定したるが詠進者の多きは矢張り東京が第一にして次は愛知縣、長野縣、新潟縣の順序なりと（東京電話）

◎氣流の惡い日本

飛行將校の大和魂に因るのだ！

飛行界世界均一の爲めに……

彼は幾分遜色はあるが技術には感嘆した

＝北京に行く佛蘭西飛行將校團曰く＝

歐報内地の觀光を了へ十六日夜入城朝鮮ホテルに投宿せる佛國飛行將校大佐ボイシン少佐ツラシン大尉ノウタツチ及びゴデフロイ、ポイロツトの兩中尉一行は晝は市内名所舊蹟を探り夜は在京佛人と共に活動寫眞倶樂部にて朝鮮氣分を味つた上十八日朝退城北京に向つた一行は飛行將校の軍服に勳章をピカつかせながら元氣よく語る

◇『日本の』飛行界は歐洲飛行界に比べて幾等か遜色があるとは聞いて居たが今回の視察で日本の飛行界が斯く迄發達して居るかと云ふ事を知ると同時に吾々の想像は根本より覆へされて終つた而しながら機械に於ては未だ幾等か遜色があると云ふ事を得るが技術の點に至ると吾々の遙に及ばない所があるソレは飛行將校の精神所謂大和魂に依て技術が差配されて行く事で此大和魂は恐るべき發達の素因をなして居る事を知つて

◇敬意を拂はずには居られなくなつた加ふるに日本は島國丈けにそれ丈け氣流も歐洲に比して惡い、この氣流の如何は飛行上大なる關係のあるもので日本の飛行は確に飛行上少からぬ困難があると思ふ其困難の中から又機械の幾分か不完全の中にあつて斯く技術の發達して居ると云ふ事は返す／＼も敬服するの外はなかつた今や大戰も熄んで世は平和の光に浴して來た是から日本はい、機械を購入し得て獨特の技術を現はし益々發達して行く事と信ずる朝鮮は飛行に適するや否や吾々は素通りであるから言明出來ないが半島と云つても

◇大陸續き丈けに幾等か日本よりは氣流の相違があるであらうが而し之れが果して飛行に適するや否やは疑問である京都滯在中はあの地の風光明媚に憧れを充してさうして古代美術品を見て日本の一般國民を想像しよく了解する事を得たのは吾々の愉快に感ずる處である吾々一行は是から北京に行つて支那の飛行界に多少貢獻するつもりである東洋の飛行界を發達させて世界均一と仕度い

十七日逝去せられたる淺野恭子の方

◎前田中隊過激派軍と奮戰

六名負傷五名行方不明となる

ウラジミルスキー北方廿五露里の地點に駐屯せる步兵第四十七聯隊前田中隊の一小隊五十名は十日白晝過激派の來襲を受け本隊の應援を得て勇戰頗る努め數時間の後過激派をヤヘイロ村方面に擊退せるが近藤曹長以下六名（大分縣出身者五名、福岡縣出身者一名）負傷し行方不明五名、傷非一名の損害を受けたる旨北方補充隊に電報ありたり（小倉電報）

◎佛國里昂の世界博

陳列館四百

巴里來電＝本年三四月頃を以て里昂に開催さるべき世界博覽會の陳列館は三百八十に及ぶべく既に今日迄に入場券三十五萬枚を發賣したるが其中二十萬枚は豫約に屬するものなり（東京電）

◎朝鮮に關係無し

小田原疑獄事件

＝川村警保局長談＝

去る六日深夜相州小田原警察署が大學十數人の有力者を檢擧したるが右は朝鮮に關係ある疑獄事件なる旨部下の新聞に傳へられたるが之に就き神奈川縣保安課長は小田原に急行し事實の眞相を取調べたるも全く無根の虛說なりし事判明せる旨川村内務省警保局長は語れり（東京特電）

◎高麗王族の遺跡發掘

相州大磯に

髑髏と刀劍現はる

相州大磯町字大城山の紀州侯別莊に隣接せる有村某氏の別莊に於て數日前より邸内擴張の爲め裏手に在る七箇所の穴居跡と稱する場所を發掘せし所十四日午後に至り七八尺の土中より髑髏二個と錆朽ちたる二尺五六寸の刀二本現はれたるより其の筋に屆け出でたり同所附近は元高麗王族の移住し居たる歷史もあり考古學の參考とし得る可しとて刀は近く帝國大學に寄贈せらる、由（小田原）

◎惡性感冒再び猖獗

大阪にも益增加

昨秋全世界に亘りて猖獗を極めた流行性感冒は昨今再び大阪市内に蔓延せんとする形勢あり茲二三日來死亡者著しく增加し一日平均九十人に及び其内約二十人は流行性感冒に依るものなり（大阪特電）

◎蚤の夫婦◇雌雄の大きさ、強さ……

人間は平均男は女より優れてる

雌の爲に捕つて食はれる蜘蛛の雄

龍山鐵道倶樂部にて 五島博士談（二）

是等のことは雌雄淘汰の議論とも密接な關係のあることは見易い道理であるが、茲に雌雄大きさの割合を調べて見ると、先づ人間の身長は男子は女子の一、〇七乃至一、〇九で從つて現在身長五尺の女子があるとすれば若し彼女が男として生れて居たならば五尺四寸許りの男子となるだらうと云ふのである。尤も右は

▲調査の便宜 上南獨逸或は南亞のホッテントット族と和蘭人との雜種に就て得た統計だけれども、此の比は恐らく世界各國大同少異だらうと思はれる。併し蚤の夫婦とか云つて男子が小さく女子が大なる場合も無いではないが平均した所で男は女よりも體格が稍優れて居る。腦髓の如きは牝獸は牡獸の六分の一の大きさしかない

▲反對に昆虫 類では概ね雄が小さく雌は大きく出來て居る是は產卵の必要からであらう、又蜘蛛の或る種類では雌の方が著しく大きく且つ强壯で雄が雌に近寄る際には餘程注意しないと雌の爲めに捕つて食はれて仕舞ふこともある。一部の動物に於ては雄の運動器管若くは消化器管が退化して何だか譯の分からぬ形態になつて仕舞つたり、反對に雌が退化して一つの卵の囊の如きなることもある

▲體格の優劣 に次いで雌雄形狀の差は哺乳類では角、齒乃至牙、鬣等に依つて判別し得る、琉球の沿海に棲息する人魚は牡には上顎の前齒が著しく發達して居るが牝のは伸びて居ない。鰐鯛の象は牡に限つて牙を持つて居る。哺乳類を見渡して其第二次的即ち生殖器以外の雌雄別の意義を考へると牡は腕力に依つて牝を得んと努めする場合が多い樣である

▲是が鳥類 になると聊か趣きを異ふ。多くはもつと優美な方法で雌を誘引するのである。即ち音聲或は色彩の美を以て競爭する、此場合勝利は必ずしも腕力の强い方に歸せない。總て是等の鳥類は幼時に在つては雌雄殆ど異ならないが生長するにつれて雄の方がだん／＼變つて行くんで雌の方が將來の形態を代表して居て雄のみ變化するものと思はれる。

▲反對に雌が 雄よりも美麗な鳥類は甚だ稀ではあるが有ることはある。印度鶉の如き其一例である。又鳥類の中でも雄が雌を得ん爲め格鬪するものもある、蹴爪は其武器で或種類では五つも蹴爪を備へて居る。獨逸では雌迄が雄と同じに蹴爪を持つた鷄の品種があつた、此鷄は澤山產卵をしたけれども孵化の際蹴爪で卵を壞すことが多い爲め遂に絕滅したさうである（終）

◎新たに幼稚園を

京城に設立しようと云ふ計畫

敏子女史が寢食を忘れて奔走

▲故五百子女史の遺志

朝鮮教育界の爲に顧みる時男子の女傑奧村五百子女史の名は光る其遺兒の敏子女史は母の才母の氣魄母の雄辯を其儘承け繼いで男にしても稀らしい程の遣り手今は鎭海に根城を築いて浮世を他所の

▽田園生活 を營んで居るが恰度昨年六月の事女史は久し振りに故五百子女史の遺跡を訪ふべく全南光州に行つたことがある、光州には五百子女史がお寺も建て學校も設けた、奧村家に取つては殊に敏子女史に取つては實に思ひ出の深い土地である、敏子女史は此處で圖らずも故母堂が

▽廿年前の 教へ子から訪問を受けた、立派な紳士が『……これと云ふのも皆母堂樣のお蔭です』と淚を流して感謝するのを見て、女史も太く感激し同時に人間事業を起すならば育英に若くものはないと云ふ考へが電光の如く其腦裡に閃いた、そこで機會もあらば亡き母の

▽遺志を繼 いで育英に從事しようと是が亡き母に酬ゆる何よりの孝行であると思つて居る中かねて買入れておいた太田附近の地價が騰貴して茲に多少の基本金が出來たので女史は手を拍つて喜び時こそ來れりと愈決心の臍を固め京城に理想的幼稚園を設立して

▽初一念を 貫く計畫を樹てたのである、女史は斯く決意するや早速京城に來た、そして東奔西走、各方面の官民を歷訪し例の雄辯を揮つて說き付けたところ、忽ち内地人側で美濃部鮮銀總裁、久保京管局長、川上東拓理事、高野三井物產支店長、釘本商議副會頭、田中丸病院長、古城管堂、山口太兵衞、十行致、谷内東本願寺輪番の諸氏

▽鮮人側で は趙重應子を筆頭に朴泳孝侯、李完用伯、趙重應子、閔泳綺、韓相龍諸氏など有力な人々の賛助を得た、是等の人々は今後の事業に向つて出來る限り援助を與へる筈であるが、殊に趙重應子以下鮮人側の賛助員は資金の一部として特に秘藏の書畫を寄附する事になつた、女史は來る二月七日が恰度故五百子女史の

▽十三回忌 に相當し愛國婦人會の有志によつて盛大な法要が營まれるので夫に參列、旁々作品書畫を携へて東上し、法要終了後は書畫會を開いて資金を得同時に朝野の有力者を說伏して是非共初一念を貫く考へだと云ふ、右の幼稚園は專ら鮮人子弟を收容するので其規模や設立の場所は

▽資金問題 の解決せぬ今日まだ決まつて居らぬが愈實現の曉は鎭海の方は然るべき人物に委託し女史自身は京城に根據を移して幼稚園の經營に全力を注ぐ心算だと云ふ

◎練習艦隊舞鶴へ

十四日以來釜山港内神仙臺沖合に碇泊せし練習艦隊常磐、吾妻の兩艦は十六日午後三時三十分常磐四時三十分吾妻の乘組員は寒風をも物ともせず威風堂々浪を蹴つて舞鶴軍港に向ひけり（釜山）

◎朝鮮を經て凱旋

廿八日頃から輸送開始

龍山兵營で休養する

龍山驛にては來る二十八日頃より西伯利派遣軍凱旋部隊の輸送あるに就き目下其準備中の由なるが京城にても愛國婦人會、在鄕軍人會等の活動あるべく尚ほ聞く處によれば之等凱旋兵は龍山驛に下車し砲兵聯隊兵營に三泊休養する筈にて又發送軍馬の掛下をも行ふ由

◎新義州雜俎

▲[illegible]長課長上京 [illegible]

▲[illegible] 事務室の基礎工事終りたるが本年解氷を待ち直ちに上屋の建設をなすべく工費約八千圓の豫算なり

▲大分縣人宴會 當地大分縣人會は十八日午後六時半より[illegible]にして非常の盛會なりしと

▲稅關吏を招待 新義州驛[illegible]では稅關吏を停車場ホテルに招待し[illegible]盛宴を張れり

▲水產市場 第一回總會を十七日午後[illegible]

◎西大門外の砂

金は無根か

京義線の改良工事で西大門水色間の線路工事中竹添町地下から砂金が現はれたと云ふ噂は何うやら此前の南大門驛裏から砂金が出ると云ふ噂の樣な話と同樣で事實無根のものらしいと

◎金簪横領

朝鮮瓦斯電氣會社經營の東萊釜山間自動車部運轉手保坂茂三郎（二五）は乘客の遺失せる珊瑚珠入金簪を横領せる廉により十六日釜山地方法院にて科料十五圓に即決されたり（釜山）

◎七日目取組

東京大相撲（七日目）十八日に於る幕内取組左の如し（東京特電）

若葉山 友の浦	大岬 宇都宮	濱翔 逆鉾
山牛田山 大の甲	朝見藤 八甲山	玉岩 綾川
神力 岩木山	土州山 御西山	大の高 駒泉
紅葉川 大門岩	藤の川 福柳	矢筈山 宮城山

三杉磯 對馬洋（入間門 九州山）（劍ヶ浦 栃木山）

中入後

逆島 一阿蘇嶽 黑瀬川

達の矢 一湊 兩國

若湊 源氏山 常の花 千葉崎

大戸平 大錦

の内千葉崎に常の花は本社懸賞の好取組なり

◎大工業總會

既報の如く十九日八景園に開催せる龍山大工業者組合總會は先づ組長祝一郎氏の開會の辭に始まり矢野分隊長の懇篤なる訓諭あり役員の改選を行ひ祝氏組合長に再選せられ終つて宴に移り同會基本金の募集をなせしが即座に三百餘圓の醵出あり非常の盛會を呈したるが現在會員二百餘名なりしと

◎新嘗賞品授與式

京城新檢番にては來る二十日午前十時白水に於て昨年中の優勝藝妓に對し賞品授與式を行ひ要て新年宴會を開くべし

◎覆審法院廷丁募集

京城覆審法院にては數名の廷丁を募集する由なるが應募資格者は十八歲より四十歲位迄の者にして希望者は履歷書を添へて同院庶務課宛申込むべし

社寺と教會 十九日 日曜

▲日本基督教會（長谷川町）午前九時日曜學校▲十時半禮拜說教『信仰生活の試』秋月致氏午後七時傳道說教『愛の勝利』同氏

▲京城組合教會（南米倉町）午前十時半禮拜中年の危險 吉木牧師午後七時說教『羊に就て』同氏

▲メソヂスト教會（旭町二丁目）午前十時『神の使』大島正健午後七時『平和の君』會田傳道師

▲曹洞宗別院（若草町）午前十時より師學會開催、午後二時より曹會の集會催ふし御歌あり

演藝案内

壽座 南大門 電話五七八

大阪歌舞伎中村玉六嵐信藏一座 一番目（初日午後五時開幕）式三番引拔きだんまり 前 木村長門守血判取り 中 源平布引瀧實盛物語 切 二十四孝 寶の入船波の浦島 所作事 [illegible] 五十錢四十錢 三十錢 二等九十錢 一等一圓廿錢 小供各半額

有樂館 黃金町 電話[illegible]

ユニヴァーサル會社特約 活動寫眞常設館 早川雪洲[illegible] 三日より特作品と[illegible]

■怪奇劇 第三幽靈船

■思潮劇 三人の名親 六卷

■人情劇 山の想ひ出 全五卷

壽館 本町一丁目 電話一〇五〇

東都ニ於テ新時代浪曲ノ泰斗ト評セラレタル 京山愛三大一座開演

黃金館 電話（晝間）二三六六（夜間）二六三七

松竹活動寫眞會社京城常設館 一月十三日より新派 ▲泰西滑稽『美人の眠り』全一卷 ▲泰西喜劇『金と戀』全一卷 ▲新派 市川猿十郎大合同

新派悲劇 吃又平 全二十二卷

讀心術 全三卷

想夫憐 全三卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇

落語 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三

十三日より[illegible] 武藏屋新藏 全四卷 ドーグラス『月魄』六卷 [illegible]

文樂座 本町五丁目 電話三三八

浪花節 中村[illegible]

色白藥 **毛生藥**

東京美容院の色白藥毛生藥にきびそばかすの藥ぬけ毛止め脫毛藥やせる藥 一切の美顏料及藥品は院長北原十三男氏數回の洋行研究と本院の實地經驗に成り日々數百の來院者に使用して絕大の信用を博し確實なる物 詳細說明書進呈 發賣元 東京神田駿河臺袋町九 日本化粧品株式會社

大正式製麵機 東京本所長崎町三日本製麵機[illegible] 本機は事業として最も有利[illegible]

ぢの薬 內用外用 清涼丸 清涼劑 併用せば面白い程能效あり 本舖 名古屋 荒川長太郎 全國各藥店[illegible]

質 新規開業 倉庫完全 京城若草町（金井眼科醫院前）三十八番地（池上病院前）麻生質店

◎告 福井縣人 來ル廿二日（水曜日）午後六時ヨリ黃金町三丁目得月亭ニ於テ新年宴會相催候ニ付奮テ御出席被下度候追テ當日金三圓御持參ノコト御希望ノ方ハ廿一日中ニ南大門驛前松原商店ニ御一報アレ 福井縣人會幹事

冬の風邪には 大學病院 模範方劑 東京 カゼピリン 解熱 兒 全治 KAZEPIRIN 本舖 淺野藥天堂藥局 鮮滿無藥の特約店にて販賣す

製藥士 男女誰でも僅一ヶ月間自宅獨習で[illegible] 東京本郷追分町 日本通信藥學校

金もうけ 二十割の大利益ある 十圓か二十圓あれば其資金の二十倍の利益ある好事業あり、新發明の全國營業物で何人にも[illegible] 東京市下谷區[illegible] 東京化工研究會

曇後晴 京城測候所氣象 [illegible]

仁川米豆取引所 [illegible]

仁川期米 …

探鑛の栞

素人の手引（續）

（二） 稻垣宗次郎氏談

◆斯くの如く貴重なる鑛物に對して研究が行き屆かぬと云ふことは國の恥辱ではあるまいか、然るに世人は鑛業家を目して山師と云ひて危險視するは其意を得ぬのである、蓋し鑛物に關する智識に乏しき爲である、併し乍ら我々鑛業に從事する者より云へば鑛業程確實なるものはなく鑛業程の國家的事業は無いと云ひたいのである、吾人は國家を離れて存在することが出來ぬ、從つて總ての事業は國家の利益と一致するにあらざれば大成を期する事が出來ぬのである。

鑛業に入る第一步

然らば如何にして鑛業に入らんかと之れ茲に研究せんとする處であるが鑛業にも色々の意義があるが他人が手を掛けて既に有望確實と決定せられたる山を買收し金の力に依て計算的に利益を擧ぐるを以て鑛業家の能事と爲し本領を得たるもの心得るは所謂今日の鑛業家らしき者比々皆然りである、併し乍ら之には相當の資力を必要とする乃ち金がなければ鑛業は出來ぬ鑛業は金持のみ之を爲すものなりと相場が定つては金の無い者は永久に鑛業に手を出せぬ事となる之れ吾が輩の此處に鑛業を說かんとする趣旨に背くのである、鑛業が其國家的なるは寧ろ良鑛の探見にあるのではあるまいか吾人は左樣に信ずる、人の探し當てたる寶を金で買うよりも神の埋沒して置いた寶を探し當てる方が偉いのであるまいか、金で遣る事ならば誰でも出來る我輩は此點に於て他人の手に依つて有望と決定したる山を高く買ふて計算的に經營する人よりも寧ろ腰にハンマを、ぶら下げて山河を跋涉し鑛物の發見に努力する人を尊敬せんとするのである、世の探鑛者自重すべしである。

探鑛は如何にして之れを爲すか

然らば探鑛は如何にして之を爲すか之初心の探鑛者に敎へんとする所である、固より我輩は專門の學者ではない、唯自分が既往十年間斯業に關係したる實驗より其信念を語り最も初心の探鑛者殊に之より探鑛を始めんとする壯者に告げ幾分にても斯道に便ぜんとする微意に外ならぬのである。探鑛を本式に行はむとせば先づ地質の大要を知り岩石の研究を爲し進んで鑛產分析の智識を必要とするは勿論なるも併しながら左迄の專門的智識はなくとも幾分の要領をさへ心得れば探鑛は出來るのである。

先山相を見よ

人と同じく金持は金持の相があるのである、鑛物のある山は一種特別の相がある、山相は包藏する鑛物の種類に依り異り金屬山は金屬、石炭山は石炭、山石油は石油と各特徴を有する故我輩の茲に述べんとするは主として南鮮に多き金屬鑛物に付述べんとするのである。

◆金屬鑛物 の多くは其鑛床中に黃鐵鑛を伴なふもの故其露頭部は風化作用により酸化して硫酸鐵又は褐鐵となる、其狀恰も火に燒かれたるが如き觀あり故に通稱之を『燒け』と稱す、此地表の燒けを鑛物の露頭と云ふのである從つて此燒けが大なれば大なる程鑛床の大なることを示すものであるから探鑛者は先第一に此の『燒け』の燒けに辿り著いたならば携帶のハンマを以て此の附近にある岩石を打擾して其破片の斷面を見るのである、而して其れが鑛物の露頭なりや否やは一寸

◆初心の者 には判り惡いものであるが之れには先づ概要左記の地質並に露頭の色合を注視することが必要である

（一）附近一帶の地質が水成岩より成るや火成岩より成るや

（イ）附近の地層が層を積み重ねたるが如き縞狀の盤石を以て成り一定の延長を有するときは其地帶は水成岩なりと想定することが得べく而して其層狀を爲せる盤石其物は鑛物の存することは至つて稀なるも探鑛中偶々恰も座蒲團の重ねに緣を著けたる如き形狀に他種類の岩石が之を貫ける事あり此の異種類の岩石は常に鑛脈を爲せるものと見て差閊へなかる可し

（ロ）又附近の地層が峻々として秀づるか又は花崗岩の如き大塊狀を爲せる場合は之を火成岩地帶と見て差閊へなかるべく而して其中に方向の一定したる節を引けるが如き形態を具ふる異種の岩石を認むるときは是亦鑛脈にあらずやとの疑問を起すべし

（ハ）又地層が扁平狀の岩石より成り粗末なる花崗石に類似のものなるときは前二者以外の變成岩なることを想定し得へく而して此扁平狀の岩塊の中に鑛類の岩脈を有せざるやを檢すべし

（二）露頭の岩石が鑛物的色彩を帶ぶるや否や

鑛物を包藏しき岩脈の露頭部の破片が若し一部に硫化物（黃銅黃色又は鉛色に光ろ如き場合）あるか或は酸化物（綠青色又は藍色、黑色、赤褐色の如き）の異體のものあるときは先づ鑛石に近きものと知るべし尙普通金屬鑛物を間違ひ易きは雲母なり、雲母は黃金色のものあり白色のものあり又黑褐色のものあり普通岩石中に魚鱗狀を爲してキラ〳〵と光るを以て往々鑛石と誤解し易き場合あるを以て注意すべし

大連より

◎大連及び沿線奧地の經濟發展に伴なひ金融機關の增設は自然の趨勢にして舊臘大連商業銀行の設立を見引續き大連日支有力者發企となり滿洲銀行設立の計畫中にて近く創立される事と成り猶此他にも二三銀行設立の計畫がされてゐる◎關東都督府にては既に大連に於ける銀行及び他の金融業の數が大連財界の金融疏通に事を缺かざるを以て此の上銀行增加の必要を認めず新銀行の設立認可は六ケ敷かるべしと傳へる者が有るが之れは既存の銀行業者の流布する說らしく實際に於て大連及び大連を根據とする沿線各地の事業界は更に滿洲と密接なる關係を有する銀行の設立を必要としてゐる

◎大連現存の銀行は本店五支店三つある、而して何れも各地に於て此の他に露國銀行一支那銀行が二其の比を見ざる良好の成績を擧げて居る

◎正隆銀行及び大連銀行の如きは都督府から巨額の補助金を下附されてあるが最近の決算を見るに兩銀行共十二三割乃至十數割の純利益を揚げ巨額の補助金の如き何れも重役の懷を肥し或は行員酒色の料に消ねて居る斯くの如く莫大なる補助金は何等の意義を爲さず消されて居る許りでなく其の結果として間者大連銀行が假造モルヒネを擔保に數萬圓の貸出を爲したる如き皆法外なる利益が生んだ油斷から來て居る

◎財界の膨脹に伴なふ金融機關の增設は極めて必要な事で大連に於ける多くの銀行が他地方より低利の預金を高利貸と相距る事遠からざる高步の貸出を爲す如きも畢竟するに金融機關の充實して居らぬ證據である猶如何しき積立又は貯金信託會社の筍立生起する所以も又中產以下の貯金を取扱ふ健全なる銀行の少い爲ではあるまいか

◎此の意味に於て大連市は滿洲銀行可なり畫夜銀行可なり第一銀行支店の設置其他二三計畫の新銀行も悉く之を歡迎すべきであらう

◎組合の合同

◆群山に於ける米穀商◆

群山に於ける群山米穀商組合は然引續き唯一の機關となりありしが本年三十三名の組合員を有し米穀取引舊臘中旬に至り現組合に對立し同一目的機關として現組合員外日鮮人に依り群山米穀商問屋組合の組織を觀るに至り內鮮組合員廿名を得て盛んに米穀賣買取引を開始したるが同一府內に同一目的機關に對立するは甚だ寒心すべき現象なりとし天野府尹渡邊警察署長趙沃溝郡守鮮銀泉商銀藏田十八北川各支店長等の調停斡旋と新舊兩組合代表者等相互の會同折衝數次に及びたる結果本月十一日に至り舊組合は組合規約の改正を斷行し門戶を開放して新組合員全部を加入せしむるに決したるが改正規約に依れば新加入には組合員と同盟員との別を設け組合員と同盟員との資格別は同盟員は二百圓の信任金を納入し組合員は信任金の外別に四百圓を納附せしむること、し同盟員組合員共に賣買取引の權利に何等相違無きも同盟員は組合財產上の權利及び決議權を有せざるの差違あるのみにして今回組合より加入したる同盟員中組合員として推薦するの人選は特に天野府尹渡邊署長趙郡守等に一任し其推薦の結果組合員として十三名を選び七名を同盟員として加入せしめたるが前記新組合より加入せる組合員十三名の外組合規約の改正に均霑したる者四名なれば結局群山米穀商組合は在來三十三名の組合員の外十七名の新組合員と七名の同盟員を加へたるものにして左は新加組合員同盟員の氏名なり（群山）

新加入組合員朝鮮精米株式會社支店、金洪斗、趙平九、文明漢、戶田佐太郎、田中由三郎、大岡十助、南周松、木村恒三、山田政吉、趙正煥、金景泰、崔鎭八、林承哲、崔聖昭、金永燮、李源宇、李添運、鄭貫和、鄭在國、車相根、金瑞旭

◎惡道路と損害

◆想像も及ばざる程の困難◆

全南に於て羅州郡內の道路が險惡なりと云ふことは旅行者一般の殆んど一致する見解にして絕わず地方民の問題を惹起すること兩三年に及べるが今尙ほ何等修理を見ず尤も客臘宮木全南道長官は道路視察として榮山浦を中心として南岸の道路を視察したる由なれば何れ此の問題も解決すべしと信ず殊に最近の如く雨雪頻繁に降る場合榮山浦は全く泥の中に築ける市街の觀ありて停車場道路の如きは步行は扨て措き牛馬車人力車の交通も杜絕同樣にして驛の貨物は往々中止の惡境に遭遇し荷主の損害計り知る可からざるものあり更に同地より南平江に通ずる附近まで約一里半の道路は本年車馬の通行を遮斷し居りて其工事遲々として進捗せず明年三月頃に及ぶの狀態にあり而して此唯一無二の奧筋道路の一本道にて全く廢道同樣になり居るは不利益も亦甚だしく更に同地より岩に通ずる道路も赤車馬を通ずるに往復とも數十名の人夫を備ひ轆くやら押すやら他に見る能はざる奇觀を呈し其混雜想像も及ばざる所なり事實以上の如きを以て地方產業界の爲め此の惡道路を改善したきものなり（榮山浦）

釜山から（四）

……宴會と女中……

龍頭山公園で聞いた話は何だか拙者には分らなんだ、而し賭事とか警察に行つて聞いて來いとか、妙な諷刺の樣にも聞はれた、而し誰が賭博をうとうが其の樣な事は何にも拙者は沒交涉だ、無關係だ、其の細面に何う云ふ事が潜在して居るのか、もとより拙者に分り相な事はない、其れは世人が知つて居るのだらう、世間は廣い樣で狹いものだからナア、やれ〳〵日は最ふ枚の島に落ちかけた、ごれ歸りませうと、彼の石段を下りた、宿に歸ろうと急いで來ると、丁度出會つたのが舊來の親友アの字である。やあ、何時來た。昨日來た。で久し振りの挨拶も簡短なものだ

何うだ久し振りに夕飯を食はうか宜からう。と忽ち即決でアの字に附いて行つた。

二人で上がつた家は立派な料理屋であつた、何でも喝戶とか云ふ相な、案內の女中に隨つて座敷に通る。其處からも、此處からも陽氣な騷ぎが聞こへた、女中とアの字は斯の樣な會話を交ねて居た。

『又今晚も宴會かね』

『ハイ、今晚は三つですよ、此頃の樣に毎晚宴會が澤山では、帳場さんは喜びませうが、妾達はやり切れませぬ』

『成る程隨分盛んだね』

『第一貫方五日頃から毎晚ですからね、鈴木などは主人側に遙々京城や大邱の店からも應援に來ました程ですもの……』

女中は大儀相に宴會の頻繁なのを怨む樣に云つた。アの字の同情する樣な姿であつた。此處に拙者も考へた、宴會が多ければ女中お賞ひも多いに違ひない。お賞ひの多いのは彼等第一の希望であらう、然るに其お賞ひの多いにも拘らず宴會を怨んで居る、して見るとお賞ひ以上に役目が苦しいに違ひない、其ともお賞ひが少いのかも知れぬ、まさか。熟々惟ふに釜山は鮮の呑吐港である、呑はのみ、吐はくだ、處で近來輸送力不足で、埠頭には貨物が山積されて、吐き出す事に苦んで居る、で吞み込む許りである、釜山港の使命夫れ斯の如し、市民諸君が大いに飲むも亦何ぞ偶然ならんや。而し乍ら唯呑む一方を考へず、チト吐き出す事を考へずばなるまい。何に宴會だから唾も吐き出す必要がない左樣々々斯く申す拙者も御馳走で腹が張るから、大いに吞まう、吐き出す必要はないからね君。

◎平壤酒の聲價

◆軈て一萬石に達せん◆

從來平壤に於ける釀造界は甚だ小規模業者のみにして品質亦劣等なるを免れざりしが大正五年稅令改正と共に當局の指導奬勵を加へたると共に當局の指導獎勵は多大にして釀造品質の改善を促したる結果、著しく平壤酒の聲價を擧げ遂年釀造高を倍蓰するに至り、今左に揭げたる統計によるに稅令改正の初年は僅々釀造石數三千石內外なりしも次年度に於ては四千五百石に增加し更に第三年に至りては一躍して八千石以上に達せり斯の如き狀態にあれば茲兩三年を出でずして一萬石に達せんは敢て妄想に非ざるべし其釀造場數及び石數を年別に表示せば左の如し

年次	釀造場	査定石數
大正五年	二一	三、〇九〇
大正六年	二七	四、九九五
大正七年	二六	八、〇六三

◎問題の六百圓

組合長に過怠金

安東縣に於ては舊臘中より銀問題なるものが持上がつて居た、と云ふことは屢々報道した通り安東の兩は大連や奉天に比し常に廉いので現物が流失する事夥しい、隨つて此の流失を防止するには安東の銀價を引上ぐるが捷徑であると云ふので、支那の商務總會の決議として爾後一切の銀相場は上海相場を執ることとすると云ふ樣な決議をして日本商人側に通告したのであつた、茲に於てか日本商人就中輸出貿易業者は

◆其不法 を鳴らし安東に建つ銀相場を無視して上海相場を取るに於ては一兩に對して約二十錢乃至三十錢の開きがあるて、斯くては我々匣毛の利を爭ふ商人の立場が何處にある、左樣な無理な決議をするに於ては我々日本商人は自己の立脚地を保護する上に於て正當防衞として不法の銀相場なら一切取引をせぬ、金建なら兎も角と云ふ樣な

◆意氣込 で商業會議所に集會を催して爾今一切金建の外取引をせぬ事を決議し若し違ふものがあつたら從價の何割と云ふ違約金を取ると云ふ事を極めて了つた許りにも

◆組合長 として調印をしたのは事實であつたが越て數日南氏は先づ上出來であつたが、元來安東縣の輸出貿易商組合長は例の神戶の鈴木商店安東出張所長南馬之助氏であつた、此の發案が南氏であつたか否かは判らぬが兎も角或る人の名義を以て小豆數百袋を買ふた事が誰知るまいと思ひの外、知れ渡つたので同業者の面々は怒るまい事か怒る衆議一決して

◆違約 過怠金六百圓を出させ責め付けた、然るに南馬之助氏は言を左右に託して支拂はぬので同業者は六百圓を出させて見せると力味返りたるも時既に

◆晩歲 に迫りたるを以て其間に或有力な仲裁者が現はれて双方の間を調停中であるとか聞く（安東）

◎生產額著しく

劇增したる煉化

平壤に於ける斯業の發展

平壤に於ける煉瓦の生產は逐年增加の趨勢を示し今や本品は獨り平壤に於ける重要產品たるのみならず此が生產業の發達は西鮮地方に於て其比を見ざるに至れり之れ平壤地方は良質なる原料の產出豐富なると一面各種工業の勃興及び建築界の殷盛に伴隨し本品の需要が鮮からざるに起因するものなり尤も平壤生產煉瓦は普通煉瓦及び耐火煉瓦の二種にして就中普通赤煉瓦は生產額約一千萬個（約二十萬圓）に上りしが工場は五箇所に設けられ主として大同江對岸に位置を占め居れり而して耐火煉瓦製造は最近のことに屬せるが此事業は從來平壤合資會社京谷商店の經營に係り赤煉瓦工場と共に其操業を持續し來れるが昨年株式會社中村組の買收するところとなり更に內容を充實して以て操業の進展を期しつゝありて成績漸次に良好なり、今之れ等を區分的に說明せん耐火煉瓦の原料は蠟石及び耐火粘土の二種とし一箇年使用量は前者千三百餘噸後者は千七百噸見當にして蠟石は平南線岐陽附近より採掘せるが此外既往に於ては木浦產を買收併用したるも輸入高の爲め減縮し現時に於ては極めて少量なり岐陽產原料は品質耐火煉瓦用として好適品にして加ふるに產出豐富なるが如し、耐火粘土は鮮內產及關東州、復州產を使用せるが鮮產粘土は品質不良なる爲め此を避し目下專ら復州產を輸入使用し居れり、斯かる生產品は品質に於ても內地產に比し遜色なく頗る良好にして各地よりの注文引きも切らざる狀勢なり、而して本品の將來を見るに平壤に於ける耐火煉瓦の需要は原料の蒐集大體に於いて容易なると需要激增せる等之が經營操業順調にあるなり、之を以て今後更に一層原料品の選擇技術の改良等優良品の製出に努力せば輸移入を杜遏すると共に斯業の發展期して疑はざる所なり、又普通煉瓦の原料粘土は各工場附近に產出豐富にして何れも自ら窯業しつゝあるの態なり、製品の販路は平壤及び西鮮地方に供給されつゝあるが最近著しく斯業の發達せるを認められ居れり而して本品の貿易狀況は兩煉瓦共西鮮地方其他鮮內に供給し之が需要の激增は其生產に追はるゝの狀態に在りて他に移出せしこと殆んどなき狀態なるも耐火煉瓦は從來內地及び外產の輸入跡から平壤に於て之が生產率增加せば該輸入を防遏するは至難の業にあらざるべしと（平壤）

◎流氷何の其

◆三菱兼二浦製鐵の上海輸送◆

三菱兼二浦製鐵所に於ては結氷期間中銑鐵の內地輸送を兼二浦驛より仁川經由に計りたるが該輸送の不便にして遲延するを憂ひ今回目下積込み中の兼二浦港留碇船八艘及び今後積込の分をも鎭南浦に引船し流氷及び潮時の如何を見計らひ三菱汽船を入港せしめ海上輸送を試みる由にて既に服部船舶主任南浦に在りて是が準備中なりと聞けるが此擧にして成功せば鎭南浦開港以來の記錄として近來の快事と言ふを得可し（鎭南浦）

◎廠牛賣店の開業 今般市內若草町三八廠牛賣店新に開業し元分顧客の便利を計る由

◎安東興業創立

◆近く創立總會を開くべし◆

安東縣奉天地方の資本家により舊臘來安東興業株式會社創立の議起り具體的成案として研究中なりしが近頃に到り其議全く熟し本月中若くは來月初旬に於て其の創立總會を開催する運びとなる由なるが其の資本金は五十萬圓とし其の營業科目は木材に對する金融並に保管、特殊產物其他に關する金融並に倉庫業、其他の附帶事業にして其の本店を安東縣に置き必要に應じて支店又は出張所を各地に設置する事あるべし當會社の存立期限は二十箇年とし株は五十圓一萬株にして最初は四分の一を拂込み必要に應じては第二回以下の拂込みを受くべし役員として取締役七名監査役三名以內を置き前者は三年後者は二箇年の任期とすべし株は一萬株の內某有力會社及び公募せざる方針なりと其の發起人の氏名は左の如し

眞谷元、織岡永太郎、內藤廣吉（以上奉天）石村久三郎、花戶貞一、河合芳太郎、河本幸村、高橋貞二、中野初太郎、村木卯治、山下五郎、藤田駒吉、國田丞次郎、武村茂、杉原佐一郎（安東縣）

安東縣より

安東縣支局 一記者

◇次に近く創立せらるべきは資本金を五十萬圓とする、安東興業株式會社にして、其の本店は當然安東に置かるべく、出資者中には東拓其他の有力會社あるあり、既に定款の印刷も終りたる由なれば本月中遲くも來月中旬迄には、創立總會を見るべしとの事に御座候

◇安東興業株式會社の、營業課目は第一木材業者に對して資金の融通、木材其他特產物の保管其の他の附帶事業にして、從來木材業者の最も苦痛としたる資金融通の道を圓滿ならしめんとするは主要の目的と聞き及び申候

◇舊臘來創立の噂ありたる安東商事株式會社は當時株式募集等には何等の支障なきもの〻如く、加之其の創立に困難を感ずるかの如き噂之有候が、其後何等聞く處之無或は記者の寡聞の致す處かとも存じ候、先づ以て堅實なる會社ならば創立せらるゝが結構に候

◇昨今依然寒威凜烈、鴨綠江上の堅氷も益々堅く、奧地方面よりの出貨は多々益々多忙を加へつゝあり各銀行會社、同業組合其他の新年宴會も益々多忙を加へつゝあるも結氷期の安東縣は、所謂交際期節とも見らるべく、將に來らんとする活動期の前提として盛んにメートルを上ぐるも結構千萬と存じ候

◇大正八年も既に一月の半ばを經過し吾も人も是より、居蘇の醉より醒めて始めて眞面目に活動すべき時期と相成申候、然るに安東に於ける本年の經濟界は如何、事業界は如何、一寸記者の知れる限りに於て一報仕まつり度候

◇先づ經濟界より見んか、昨年來の懸案たる日本人側輸出貿易商組合の決議たる金建取引問題も未だ徹底的の解決を見るに到らず、僞めに日支兩國商人間の特產物取引は兎角圓滿を缺くの虞あり、此の際何とか圓滿の解決を見ん事は喫緊の事に御座候、可申候

新義州木材株式會社は昨年中新築工場附近に於て…

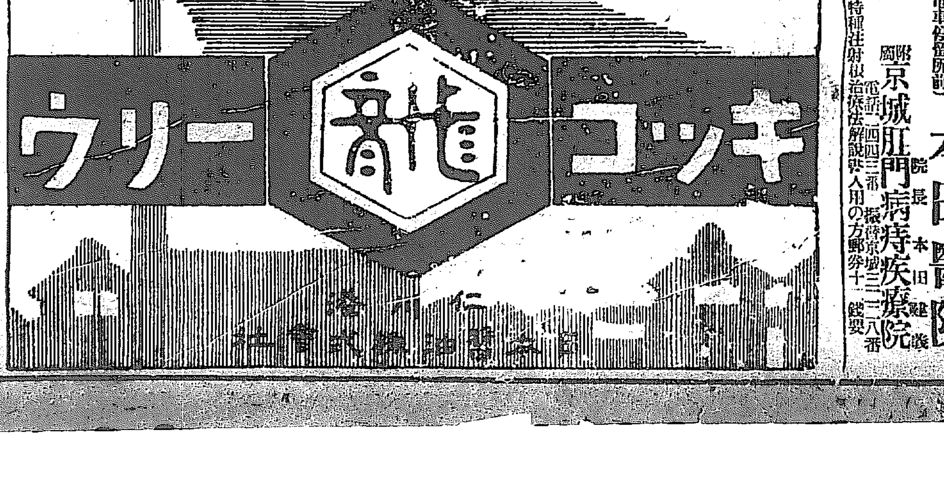
自動車
本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送
東京市京橋區 東京自動車學校
大阪市西區市岡町に分校あり

高等 メリヤスシャツ
二枚一組一圓五十錢
品質の自慢と破天荒の安賣で終始一貫する東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店は今回高等裏毛メリヤスシャツの大見切を始めたが二枚一組甲號三圓三十錢乙號二圓五十錢と云ふ去年發賣せし値段にて今年も五百打限り引續き賣ると云ふ目下同店は七週年の記念として一組の申込に正金に代用する高尙なる不思議の十八金色指環壹個宛の無代進呈をなすと云ふ因に地方の希望者はハガキにて申込ば送料運賃代金引換にて送るとの事但し限りある品故賣切れば御斷り申すとの事

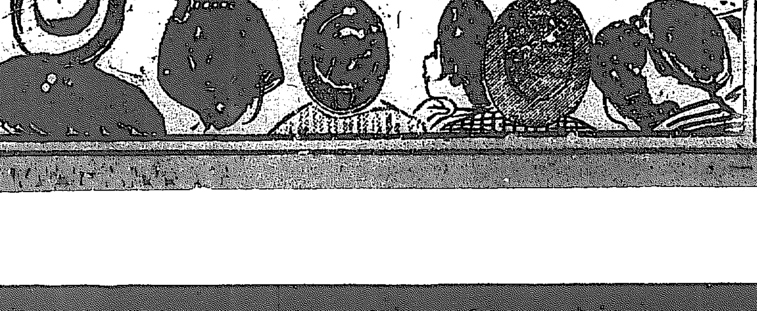
花柳病專門 外科
梅毒・淋病・泌尿生殖器病
睾丸病・肛門病・皮膚病
婦人病・神經衰弱・ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

かぜねつに 一番よくきく キナピリン

著効 ●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓
本舖 大阪市堂島元蜆橋 高橋盛大堂藥局
○到る處の藥店に販賣す



內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目（電車停留所前）
本田醫院
附屬 京城肛門病痔疾療院 院長 本田建義
電話二四四三番 振替京城三三三八番
肛門病痔疾特種注射根治療法解說入用の方郵券十二錢要

直治水
驚く可き効力ある目藥
專門學者の創製した「直治水」は學理上實驗上絕對優秀の現代唯一の理想的目藥であつて知識階級から專ら賞用せらるゝ進步的良藥である。
三大特長 ■眼科最新高貴藥を配伍す。■タツタ一瓶にて効驗現はる。■根本的に視力を強くす。
主効 ▲トラホーム▲霞み目▲うみ目▲はやり目▲やに目▲血目▲のぼせ目▲うみ目▲ほし目 其他眼病諸症に偉効あり。
新式點眼器付 廿錢
全國各藥店にあり
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房


內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話二二七二 一三九〇番

商況

東京株式特電

七日後場 引値 十七日後場との比較

株	二〇七、一〇	……
新	一〇八、五〇	……
船	一〇六、八〇	……
新船	一二一、五〇	……
船	一〇四、一〇	……
新	九六、六〇	……
紡	[illegible]	……
新	二四八、五〇	……
紡	一〇六、五〇	……
新	[illegible]	……
紡	九九、六〇	……
油	一〇七、四〇	……
引	[illegible]	……
糖	一二七、四〇	……
坑	[illegible]	……
新	[illegible]	……
一新	一二六、〇〇	……
二新	九九、五〇	……
拓	八〇、一〇	……
新	[illegible]	……

東京現株中値

十八日正午中値

東株	……
同新	一六〇、〇〇
朝鮮銀行	……
同新	……
南滿鐵道	一五三、〇〇
第一新株	一一六、五〇
第二新株	一一九、〇〇
南滿製糖	二四、〇〇
朝鮮製糖	……
滿洲製粉	……
京城電氣	五七、〇〇
同新	一八、〇〇
朝鮮瓦斯	二四、〇〇
同船	一六一、〇〇
同新	一一〇、〇〇
郵船	一九四、〇〇
同新	九五、五〇
鐘紡	二五六、五〇
同新	……
東拓	八〇、五〇
朝鮮瓦斯(?)	……
寶田石油	……

東京期米特電

十八日前場 寄附

當限	三十九圓五十一錢
中限	三十八圓九十五錢
先限	三十八圓六十九錢

大阪株式特電

十七日後場 止め

宇治川水	五〇、〇〇	……
京阪電鐵	五〇、〇〇	一三六、五〇
東洋紡績	五〇、〇〇	……
合同紡績	五〇、〇〇	……
鐘淵紡績	五〇、〇〇	……
同上新株	四〇、〇〇	一二八、五〇
東洋製糖	五〇、〇〇	……
大阪商船	三〇、五〇	一六三、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	一六八、〇〇
郵船株	五〇、〇〇	一七六、一〇
同上新株	五〇、〇〇	九六、五〇
堂島米穀	五〇、〇〇	……
東京株式	二五、〇〇	……
大阪株式	五〇、〇〇	……
同新株	五〇、〇〇	一九九、〇〇
日糖	五〇、〇〇	一九九、〇〇

大阪三品特電

十八日前場

一月限	六十七、二〇
二月限	……
三月限	……
四月限	……
五月限	……
六月限	一、二四〇

大阪期米特電

十八日前場 寄付 三十八圓四十七錢 三節 四・九錢

兵庫期米同電

十八日前場 先限寄付 三十八圓七十錢

下關期米特電

十八日前場

	當限	中限	先限
寄附	三六、一〇	三八、二〇	三八、五五
高値	三八、一〇	三八、九六	三八、五五
安値	三八、〇三	三八、九〇	三八、五六
止め	三八、〇三	三八、八四	三八、八六

雜報

◎三品は不勢

十六日の兩日は五月米綿三圓三十錢安と不良材料に崩れ三品は今朝一圓二十錢の[illegible]

棉高報を入れたるに拘はらず市況依然として活氣なく當限三百六十七圓二十錢先十一圓四十錢と不勢の入電ありしが綿布は三銘先物十二圓十錢と昨夜より二十錢方引返り

●綿布は不味

は前報の如く新市目宛の地方筋の仕入れ一段落を告げたると共に彼來弗々入荷あり此處在荷も稍々潤澤となり眼先續いて入荷の豫定なれば氣配も徐々軟化の傾ありあり粗布は昨今三二一梁四五十九圓乃至六十圓十六務四百十四圓見當にて前報後 二圓方 低落し細布又弱氣を免かれずと雖も本品は今日迄が粗布に比し割安にありたる關係上格別相場の崩れを見ず 晒金巾 は在荷缺乏の爲め引締り氣配に持合ひつゝあり此處內地市況の安穩保合と眼先き關係等より當行 尚一段 下押しは免かれざるべし

●正米更に昂騰

昨今當地有力筋の持米約一萬叺の手放し物現はれつゝあり元來が鮮商思惑屋の手により蒐集せられし物が現在持主が更に思惑せしものにして其品質劣等にて當地精米原料に不向きなる爲め自然仁川方面に商談を向け居れるものゝ如く其他實物としては連日の天候不良に籾の廻着なくして日々減退の一方なり據つて期米は又復高値を報し各地正米又一齊に高値を齎らせるより荷主益々賣惜みの傾向にて氣配又々引締まり前日より更に二三十錢高となり則ち如きは改良種在來種九錢八厘迄の手合せあり眼先尚一段の強氣にあり際物米筋は此處大に買進みつゝあり殊に一時は新米の作遲れ出廻り遲れ等の關係より人氣先安の傾きありしも內地米收穫の昨今五千四百萬石強との見込み確實となり供給不足の念益々強まり將た社會の經濟狀態より推して米價下落の望み薄しとの觀測は漸く一致し來れるものゝ如く現今の正米取引は既往の先物安に反し先物にやゝ高値に

商談

ゝとなり就中外米は解禁と共に頓挫したるの姿にて大輪入行はれんも未だ眼前に現物を見ざる事とて更に之が反撥なく眼先は尙勢一段の上値を見るや難き形勢なり

●支那粟次第高

年初取引の當日古物十二圓十四圓見當なり支那粟は輸送の不能による先約物の遲着勝ちの外現物薄の外正月商勢の刺戟により爾來漸騰を續け來りたるが此處實物一層拂底となり更に相場の一向きを促かし前日十六七八十錢唱へなりし京城向現物は今は 十七圓迄上 つて先物は三三月渡しの 見越し賣買 盛んに行はれ居れるが三月以降は例年需要の減退する時期なれば先約品の荷物一時に出揃ふ恐れある爲め四月渡し以降は相當に掛引あり商談捗らず

●銑鐵見送り

以來の不昧商狀は越年なるも更に挽回するに至らず殊に過般米國銑の解禁に次で英國銑及印度タタ銑の解禁を豫期し動もすればマバラ手持筋の焦燥の風情ありし之に反し景氣は益々萎縮の一方にて取引甚だ閑散なるが昨今二百三四十圓唱へなるも纏まれる商談無の姿なり而して米國銑は渡値段二百圓見當と唱へあれ物は更に下値なる可き見込みあれば[illegible]三月の受渡期を目先に控へ居れるなれば生約筋の態度如何に依りては其時期に及び或は思はざる不況を現出するやも計り難し

●片栗粉高模樣

北海道産は前報の如く海外輸出好調にて新規入品は十九圓以上の採算となり[illegible]北鮮澱粉は[illegible]

●空罐と空瓶

石油空罐は昨冬高値十五六錢迄騰貴せしが鼠力仮の暴落影響を受け荷膨れ來漸落し今日にては六二三錢となりしが瓶類は持合ひ酒瓶は五厘を維持して動かず目下出廻り少きサイダー瓶は追々需要時期に近づき鮮內清涼飲料製造業者の注文漸く增加し同時に氣配も上向き此處四五厘臺の唱へなるが時期の推移に連れ漸次活氣を加ふべし

も値頃の點より多少品質の缺點を忍むで北鮮産を使用せらるゝ事となり鮮內のみならず內地移出も漸次增加を示し來れる爲め產地の強硬に伴ひ當市場相場も 幾分引締り 氣味ならん傾向

下關相場

▲朝鮮米は高人氣 其後玄米一千二百七十叺白米四千二十六叺等の輸入ありて中には先約定物加はり居るも何分出廻り尠なからずして現物の如き相當に賣物ありて兎角市況引立たず然れども先物は今後輸送の關係に依り[illegible]

▲大豆は矢張氣強し 本品は引續ぎ相當に輸入あるも何分產地の[illegible]

▲小豆は手堅し 本品は[illegible]

各地商況

十八日

▲朝鮮一等白米	四十二圓八十錢
▲同(現口)	四十二圓五十錢
▲同(當用)	四十二圓六十錢
▲同來月物	四十三圓
▲元山大豆	二十一圓三十錢
▲同	二十一圓四十錢
▲同玉大大豆	二十一圓
▲同極大	二十四圓九十錢
▲流川大豆	二十一圓四十五錢

○大邱米況

十八日

▲玄米(弱保合) 頃日強弱氣迷ひ居るも不透明の商狀を續け居れるが本日も前正月節季前年手節柄出穀依然旺盛にて約四千叺を算せられ當地方面との關係上[illegible]

釜山米市場

十八日

▲正米又昂騰

市況益々引締り氣味にて本日は[illegible] 四五十錢高 に至る

(釜山特電)

京城正米市場

正米は別項の如き氣配にて本日は玄米最高三十四圓[illegible]

仁川正米

叺入津多く精米筋の買進みに出居り本日見當にて商談出來せり

正米保合相場の關係にて三等合せ輸出の買進み三十六圓見當を唱ふる居るも地撰玄米は 買方見送り にて十二圓五十六錢見當の安唱によりて商內なし

仁川米豆取引所仲買人
倉重
電話三五三番

生魚市場

京城日丸市場 本日は釜山統營方面の入荷あり其內相變らず鯖尤も多く氣配は鯛鱈の類を除く外總て下押せり

仁川期米

▲十八日前場

(反撥後保合)

▲第一節 各地、期米高を告ぐるも前日大阪の反落を移して人氣振はず寄付き七十錢と七錢高 先限三十四圓 に折かすして七十錢を付 錢より六錢 迄に引下押八十錢引

仁川米豆取引所仲買人 太仲買店

仁川海岸町三丁目

市場雜觀

昨前場大阪一節三十七圓九十二節三十八圓〇二錢三節三十七圓九十六錢四節九十九錢五[illegible]

仁川米豆取引所 仲買人 大五仲買店

店主 [illegible]

電話 長 三〇九番 自宅六〇一三番

仁川豆米 取引所 十八日の三月限

前場

寄付	三十四圓七十錢
高値	三十四圓八十錢
安値	三十四圓六十七錢
止め	三十四圓七十七錢

一節	三十四圓七十七錢
二節	三十四圓八十二錢
三節	三十四圓七十二錢
四節	三十四圓七十六錢

北濱たより

▲大阪商船株

界前途の不安と云ふ事は未だ一般に胸裏に存して居る爲め商船の如き前期の業績から推して今期も尙は六割配當を維持し得べき見込みありながらも尙ほ買氣が刺戟し難く反つて尙ほ買[illegible]

▲合談成立 當中限の解

喰急 安値 擱み 利

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川海岸町三丁目
電話 一二一 二二 振替口座京城四〇一二番

▲砂糖株

同株は平和株として時局の打擊少なかるべきを以て安値には安全なる投資物件として買觀ふ向も少なからざれば比較的相場シッカリの歩調を持續しつゝあるが精糖界の日歩は別として壟斷に於ける粗糖は時價騰貴に伴れて勞銀も漸次騰貴して生產費用の增加せる一般米穀及甘蔗の高價となりたるより米穀及甘藷を作る利益多きより甘蔗作減少たる結果本年度の如きも甘蔗作減少は豫想よりも大に減少を告げてゐるのであるが本年は一層米作の[illegible]

毛谷村六助 廿六番角力

一百十八席

桃川 桂 玉口演
浪上 義三郎 速記

仮第廿四番目に出ましたは秀吉公へ穴澤流の薙刀を指南いたして穴澤主殿頭盛秀でございます。此の人は奥州穴澤の生で妻をみつと云ひ、此の婦人は同流の薙刀の達人でございます。盛秀は毎度おみつと試合をいたしますが何うしても敵ひません、或日おみつは夫に對ひ『妾は女ながらも同流の薙刀を占風いたしました、貴下も男子と生れたからは一流を御工風遊ばされてその名を天下にお揚げなさい、毎時ながら女子に負けて居つてはそひ甲斐のないこと、諸國を御修行なされて妾を打込む程のお腕前になつてお歸り遊ばせ、それまで御留守は守ります』盛『ウム』其の一言を覓ねて居れ、乾度腕前を上達して其方を打込んで見せる』み『宜い御覺悟でございます、然う極つたら早くお出懸け遊ばせ』盛『忌々しい奴ちや、俺を無理に追出した』盛秀は我が家を飛出し全く腕前にかけては敵はない』盛秀は國元を出立いたして薙刀を持て諸國修行をいたしまする、國々へ渡ると薙刀の名人と遇ふ居りますます、その人に從いて半年一年と足を止めて修行いたす、されば盛秀も立派な腕前になりましたが流名を穴澤流と名付けまして、盛秀は九州路へ入つて參りましたが尤も修行と云ふのは鍛練れば筆の手薄ひもするものでございますが、肥前佐賀の城主龍造寺和泉守隆信の手に附きまして戰場に臨み、天晴功を現はしまして遂に和泉守の目に止り賞の沙汰を蒙りましたが、依て盛秀は此處に足を止めて居る、家來といふのではございませんが、俗に浪人組の頭人でございます、和泉守の御意に叶つて折々御前へ出まして武藝のお話をいたしまするが、今しも御前を退らうとする處へ、龍造寺新六といふ者が上つて參りました、新六は叮嚀に會釋をいたしまする、盛秀も鳥渡會釋をし 新『あゝ是々鳥渡待たつしやい 盛『何に御用で 新『貴公は穴澤流の薙刀の名人と承知いたす、一と手拙者に教へて貰ひたいものだ、未熟ではあるが新六が一ツ相手をいたす』盛『イヤ却々以て貴下樣のお相手などは思ひもよらんことでございます、平に御用赦を、貴下樣は戰場往來なされ、屢々武功をお立遊ばし天下に敵無しといふお方、拙者などは遠く及ぶ處でございません』と云つてそこ〳〵に盛秀は退りました、其の翌日になりまして龍造寺新六が城內で相變らずの自慢話 新『何と各々、昨日穴澤と手合せをいたさうといふと、何分にも此方の勢ひに恐れ、彼奴に於て尻尾を捲いて逃げてしまつた、何と拙者の勢ひは大したものだらう』○『それは龍造寺と叶んで 新『何が叶ん』○『何だと云つて穴澤は貴公を眼中に置かないのだ、却々盛秀は天下の名人、年こそ若いが何うして、先生なかなか其許は迚も及ぶ氣遣ひは無い、盛秀殿は實に偉ひものだ、其許の相手にならぬだけ見上げたものだ、能ある鷹は爪を隱す』何うも傍若無人に、天下の豪傑、我一人と力味散らすのは、傍で見て居ても見苦しくもあり聞きにくくもある、餘り自慢を云ふ者に偉い者は無い、却て己を遜り謙譲に聽病者と云はれる男が、スハ戰と云ふ時に莫大な働きをする、迚も穴澤に其許は遠く及ばない』と卒然より憎まれて居る新六、意地にかゝつて若侍が穴澤を貶して散々にあてこするから、イヤ新六は立腹いたし 新『宜し、其内に奴を引つ捉へて何れが優つて居るか、貴公等に見せて遣らう、其時には恐くな』と頭から煙を出して立腹して立歸りましたが是れからと云ふものは始終穴澤に出會はふ〳〵と狙つて居ります。

○安東縣局成績

安東縣十二月に於ける安東縣郵便局の成績を聞くに普通郵便物の引受二十六萬七千百四十九通にて昨年の同期に比し四萬六千五百五十八通を增加し配達十五萬二千六百五十五通にて昨年に比し四萬〇六百九十一通を增加し書留引受四千九百三十通にて前年に比し八百十通を增加し同配達三千七百八十七通にて前年に比し七百七十六通を增加せり是と同時に價格表記集金郵便等も引受五百八十三通にて昨年に比し百十通を增加し配達に於て五百通昨年に比し三十六通を增加し小包郵便中書留千八百八十六件にて昨年に比し七百六十六件を增加し同配達は三十七件にて前年に比し二百二十二件を增加せり又價格表記代金引替は引受二百九十五件前年に比し百二十七件を增加し同配達は千三百一件にて昨年に比し二百五十一件を增加せり電報の發信は一萬二千八百通にて前年に比し千八百五十六通を增し同著信にて一萬四千四百七十通昨年に比し二千三百五十九通を增加し中繼ぎは五千六百二十九通にして前年に比し千七十九通を增加せり爲替貯金の受け入は口數九千百十九口五十三萬四百八十六圓九十二錢九厘にて昨年に比し口數に於て八百九十八口金高に於て十四萬一千二百八十二圓三十三錢一厘を增加し爲替貯金の拂出は口數一萬一千八百四口金高六十七萬七千四百六十口數にて千三百五十口を金高に於て十七萬零三百四十四圓六十六錢を增加し一般經濟界の好況を證明して餘りあり

京城本町
千代田號印舗
電話 八八 七七

一月十九日

(舊十二月十八日) 日曜日 かのとひつじ みやうにち 白鼠 大安 ぶつ

▼八白▲中々油斷のできぬ日なり
▼九紫▲內外多幸の日なり移轉上旅行婚禮其他一切に吉なり
▼一白▲骨折り甲斐のなき日なり
▼二黑▲花々しき日にて恐らく此の日は終日萬事愉快に暮し得べし
▼三碧▲些し短氣の起る樣な日也
▼四綠▲誠意の先方に屆かぬ日也
▼五黃▲親しみのある何んとなく人懷しき日なり萬事に進んで吉
▼六白▲喜び事の降つて湧く如き日なり萬事積極的方針に出づべし
▼七赤▲幸福なる日にて或は目上の引立を得るやも知れず萬事吉

過食、凍瘡、血の道等

(ミツワ文庫八一・一)

▲胃加答兒(過食、胃病)

正月の重詰には、數の子、豆、牛蒡など消化不良の物がある。それに餅の好きな人は、自然食過ぎて胃加答兒を起すことは稀有でない。之に罹ると食慾が乏しくなり、胃部に張るやうな感じがして、時には苦しいやうな壓されるやうな重痛み、口が渇き、惡心を催し、曖氣や吃逆が出て、胃から酢い物が食道へ逆に流れて來たり、胸が灼けたりして、便通は不規則になり時には熱の出ることもある。斯樣の場合には、半日か一日斷食して、果汁や牛乳など流動物を攝り、胃部を温め、ミツワ健胃錠を服むに限る。それと同時にミツワ消化錠を用ふれば、更に良い效驗がある。此の兩藥は種々の胃病に缺くことの出來ぬ藥で、消化を促し、食慾を進めるものである。

▲齒痛(齲齒)

齲齒の出來るのは、口中の細菌が酸類を作り、其の酸類が齒の石灰分を奪ひ、それが爲齒質が脆くなつて、壞れ落ちるからである、それで是が出來ると、熱い物や冷たい物が沁みて、痛く感ずる、又硬い物や甘い物酸い物の爲にも、疼痛を覺える。

齒痛を防ぐには、過熱過冷の飲食物等を避け、食後毎に木製の小楊枝を以て、齒の間の食物を除き、ミツワ含嗽錠を溶かして含嗽するに限る斯樣にしても尙齒痛を起した折にはミツワ齒痛液を塗るに限る、本藥は疼痛を鎭め、炎症を消し、腐敗を止め、出血を抑へ、淸涼しい感覺を與へるものである。

▲眼病

眼病は種々あるが、家庭で治療の出來るもの二三を擧げてみると

(一)結膜充血即ち逆上眼は、結膜が充血して羞明しく灼くやう又刺するやうに感じコロ〳〵して、淚が多く出る(二)加答兒性結膜炎即ち流行眼は稍重く、分泌物が多く、それが爲に上下の眼瞼の睫毛が互に膠着いて、眼が開かない、次に沁物が黑眼の上に附いて、物を見る妨礙となる(三)トラホーム即ち顆粒性結膜炎である(三)トラホーム即ち顆粒性結膜炎は傳染するもので、眼瞼の結膜に顆粒が出來、コロコロして中々治り難い。

是等眼病の手當としては、ミツワ點眼錠を溶かし、それで蒸すなり冷罨すなり、又ミツワ硼酸錠を溶かして洗ひ、便通を良くし、ミツワ

▲咽頭加答兒

是は寒い時風を引いて起ることが多い之に罹ると、咽頭が痛んで、嚥下すること其の疼痛が尙劇しくなり、隨つて嚥下しが困難で、聲が嗄れ、咳嗽が出て、扁桃腺も紅く腫て痛む、而して頭痛がして、時には熱の出ることもある。

之を治すにはミツワ含嗽錠を溶かして含嗽するに限る、若し疼痛が劇しければ頸の周圍を冷水或は氷で冷し、熱かあれば、ミツワ解熱錠を服まねばならぬ、一體口中や咽腔には、常に多數の細菌が生存して居るから、含嗽といふやうな簡單な事でも、決して等閑にせず盛んに行ふのが肝心である。

▲凍瘡(ひゞあかぎれ)

凍瘡位は何でもないと打棄つて置くと、容易に治らないで、潰れて其處から細菌が侵入し、筋肉から骨までも侵されることがあるから油斷してはならぬ。

それ故豫防が肝心であるが、それには貧血や腺病質の者は肝油ドロップスを用ひ、常にミツワ雪の雫を手足に塗つて摩擦するのである、それでも凍瘡が出來たなら、其處を優良無刺戟のミツワ石鹸で淸潔に洗つて、遠方公開のミツワ凍瘡藥を塗るに限る。本藥は瘙痒を止め、疼痛を鎭め、種々の細菌を殺し、皮膚の上層を軟くし、新しい皮膚の出來ることを促すといふ效能があるので、凍瘡ばかりでなく、ひゞやあかぎれ又水蟲等に良効を現はす優秀藥である。

▲腺病(瘰癧)

腺病に罹ると、頸部や顎下の淋巴腺が稍硬く腫れて、疼痛は無いが化膿することがある、他の淋巴腺、腸間膜腺が漸次に侵されるが、之に罹ると、俗に謂ふ脾疳を起し頑固な下痢が來て、食物を貪るけれども瘦衰へて、腹部は甚だしく膨れる、それから凍瘡に罹り易く鼻加答兒や咽喉加答兒、結膜炎や中耳炎、又結核性の疾病を惹起すことが多い。

斯樣な小兒は努めて新鮮な空氣中に運動させるやうにし、皮膚を强壯にし、遊泳料として必ず肝油ドロップスを與へ、結核豫防の爲ミツワ結核錠を用ふるに限る、本藥は結核菌に對する身體の抵抗力を强くし、腸に入つて殺菌的に働く

▲血の道(ヒステリー)

ヒステリーと云ふのは婦人に多い神經病であるが、血の道は婦人の生殖器病と神經病とを兼ねてゐる、然し婦人の生殖器に病があると、大抵は神經病を惹起して來る、ヒステリーになると、刺戟され易くなり、直に怒つたり忽ち泣いたりして、嫉妬深くなり、我儘になり、頭部は重く或は痛み、胸苦しく心悸亢ぶり呼吸も迫り、夜も眠られず、食慾が減り、便通は思ふ樣になく、腹部から球の樣な物が昇つて來るやうに感じ、手足が冷ね、月經は不順になる。

血の道を治すには、白帶下の如き生殖器病があれば、ミツワ婦人坐藥を用ひ、ミツワ硼酸錠を溶かして洗ひ淨めるが良い、而して生殖器病の有無に拘らず、ミツワ婦人湯藥を服むに限る、本藥は內容を秘して萬能を說くやうな普通の賣藥と異なり、合理的に處方して之を公開したもので、卓効あるは言ふまでもなく、現代最も進歩した婦人藥である、それから頭痛が强く又眠れぬ場合には、ミツワ鎭靜錠を服めば即効がある。

所謂結核豫防を主要とし、それ補に血、强壯、健胃等の作用ある藥劑を種々加へたものであるから、結核病に罹つた場合は勿論のこと、本病の疑ひあることや、腺病の如き虛弱な體質の人は之を服用せねばならぬのである。

▲レウマチス

關節レウマチスはあちこちの關節が痛んで、動かすことが出來ないで、筋肉レウマチスは筋肉が痛むもので、疝氣、寸白、肩癖など稱へるものも、レウマチスの一種であるから、レウマチスに罹つたなら、ミツワ解熱錠を服み、ミツワ鎭痛液を塗るに限る、ミツワ解熱錠は効力が確實で副作用の無い解熱鎭痛劑である。ミツワ鎭痛液は疼痛を止める藥劑を種々配合したもので、打撲傷、挫傷等にも効く良藥である。レウマチス、神經痛に偉効がある。

ミツワ消化錠卅錠十五錢、百廿錠五十錢、三百五十錠一圓卅錢。ミツワ健胃錠卅錠十錢、百廿錠卅錢、三百錠五十錢。ミツワ含嗽錠百五十錠卅錢。ミツワ點眼液一瓶十五錢。ミツワ齒痛液一瓶卅錢。ミツワ硼酸錠百五十錠廿五錢。ミツワ凍瘡藥一壺廿錢。ミツワ雪の雫一瓶四十錢。ミツワ結核錠百錠五十錢、百廿錠廿錢、三百五十錠二圓。肝油ドロップス五十顆九十錢、百廿顆一圓八十錢。ミツワ婦人湯藥八十錠九十錢。ミツワ鎭靜錠百錠一圓廿錢。ミツワ硼酸錠六個五十錢。ミツワ解熱錠卅錠廿五錢。百錠七十錢、三百錠二圓。ミツワ鎭痛液一瓶四十錢。內地以外は關税運賃を加ふ。發賣品目錄中越次第進呈。東京日本橋區橘町丸見屋商店

◎日本郵船出帆

大連、長崎、門司、神戸、大阪行
酒田丸 一月二十一日 正午出帆
淡路丸 一月二十二日 正午出帆
平安丸 一月二十五日 正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川海岸町二丁目(電話十番) 堀 回漕部

回朝鮮郵船出帆

大阪、神戸行 門司、釜山、元山、城津
敦賀行 清津、城津、元山、釜山經由
大阪明治屋ノ各地支店ニ於テ申込ノ便宜アルベシ

▲浦汐行 清津經由
平安丸 一月[illegible]日 元山
平壤丸 一月[illegible]日 元山發
▲雄基行 關門、釜山、各港經由
忠清丸 一月十八日 釜山發
咸鏡丸 一月二十二日 元山發
▲元山雄基線
咸鏡丸 一月十八日 元山發
▲大阪行 清津、城津、元山、釜山
越後丸 一月[illegible]日 元山發
昌平丸 一月[illegible]日 釜山發
▲關門行
忠清丸 一月二十六日 元山發
×忠清丸 一月廿九日 釜山發
雄基丸 一月廿一日 元山發
雄基丸 一月廿五日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭邑經由 長箭行
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由
金海丸 一月二十日 釜山發
▲濟州島行 釜山發
▲釜山浦項線
▲濟州島行 木浦發
昌平丸 一月二十日 釜山發
▲東廻西廻 公州丸 慶興丸 一月廿六日 一月十九日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復
▲木浦麗水線
順天丸 一月[illegible]日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 一月廿二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
晉州丸 一月廿二日 仁川發
▲海州行 仁川發江華島海州經由 仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
丸 一月[illegible]日 仁川發
▲大連、青島行
江原丸 一月二十日 仁川發
鮮滿鐵道及其他ノ外國へ荷客連絡ノ便アリ
本京城南大門通(電話長一九五二)
釜山 佐藤 支店
元山 山下 出張所
仁川 海岸通 理店
木浦 代理店
京城 荷客取扱店
其他各寄港地ニ荷客取扱店
電話長一二〇七

互光商會

汽船 出帆廣告

元山、西湖、城津、清津行
門司、宇品、神戸、大阪行
◎第三 昇榮丸 一月十日 元山出帆
◎第三 昇榮丸 一月[illegible]日 釜山出帆
大連同漕部

尼崎汽船出帆

仁川 仁川海岸通二丁目(電話五九番) 同漕部
木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸 一月廿一日 後四時出帆
大有丸 一月[illegible]日 後四時出帆
神代丸 一月二十日 後四時出帆

共同汽船出帆

大連直行(關東都督府命令)
共同丸 一月十七日 後五時 一月十八日 正午
仁川代理店 田中 電話
元山 代理店 [illegible]
京城取次店 [illegible] 運送店

第五版

京城日報

下取調中なり家屋は保險に附しあり ……十八日午後三時四十六分…… 北京に向ふ筈なり(奉天特電)

對獨警戒二種

在東京 吐峯生

◇伯林の形勢は漸次安定の傾向を示し、現エベルト內閣の守勢次第に昂上する模樣に候。伯林公報はリープクネヒト氏の戰死說を傳へ、政府は既にスパルタカス團との商議を打ち切りたりとの事に候。◇敵國の混亂紛糾は聯合國の利益に似て實は然らず、聯合國は獨逸に對して有利の講和條件を命じ、且つ之を有效に實行せしめざるべからず、而して之れが爲めに敵國の秩序恢復し責任の所在を判明せしむる事何よりも必要に候。◇聯合國が屢ゝ伯林占領說を唱へ、又獨逸の穩健派が進んで聯合國の干涉を要望せるは、其の意蓋し茲に在り。何となれば獨逸の紛亂は獨り獨逸の不利益に止らず、聯合國の迷惑此の上無き故に候。◇債權者の利益は、債務者をして飽迄履行の能力ある彈力を保有せしむるに在り、若し義務履行の能力を喪ひ、破產の宣告を下さんか、債權者は爾後の權利を放棄するの已むべからざるに立ち至るが故に候。◇聯合國亦然り、獨逸が敵國なるの故を以て、素より之が土崩瓦解を望むべきにあらず、寧ろ今日の窮狀を救援して他日の御恩返しを要求するに如かず候。エベルト內閣が有產階級の信任を加へ、容易に過激派勢力を掃蕩し得たるは、一面聯合國の應援なりと謂はずんばあらず候。◇然れども吾人は獨逸對聯合國の關係に對し、二種の警戒を怠る能はず候。第一は獨逸の詐欺破產にして、第二は聯合國の獨逸政府操縱に候。◇獨逸の內亂は一面戰敗に伴なふ必然の結果なりと雖も、他の一面に於ては聯合國の苛重なる要求より免れんとする政略的紛議を加味せずんばあらず候。殊に所謂休戰的壓迫、即ち戰費賠償問題に關して然り。何となれば獨逸各聯邦は能ふ限り責任を普魯西一國に轉嫁し、以て自家の負擔を免れんと欲するが故に候。聯合國は決して獨逸の詐欺破產に瞞着せらるべからず候。◇之と同時に聯合國、殊に英國の政略を看過すべからず、蓋し英國は露國に試みたるが如く、右手に革命政府を支持しつゝ、左手に帝政復興を援助するが如き、二重政策を演ずる事の無きにあらず、現に聯合國の對露政策は、英國の操縱其道を誤れるが爲め見苦しき失敗に陷りたるは隱れも無き事實に候。◇若し獨逸の形勢不可ならんか、英國は得意の名分を設けて伯林政府に干涉し、若くは私かに之を操縱して自國に有利の勢力を結集せしむるに至らんも知るべからず。然れども之れ果して獨逸の利益なるや、特に聯合國全體の利益を保障し得るや、頗る疑問なりとせざるべからず候。英國は聯合國の一員也、而も英國の利益即ち聯合國の利益也とは、未だ容易に即斷し難く候。◇吾人は以上の二大要點を注しつゝ、私かに獨逸の政情を監視しつゝ、聯合國共同の利益の爲め、速かに中心勢力の確立を望んで已む能はず候。これ獨逸帝國を復活して軍國主義の再現を望むが爲めにあらず、聯合國の命令に聽從して講和條件を完全に實行せしめんが爲めに候(一月十四日)

有樂町より

▷(東京支局)◁

▲やがて開かるべき講和會議の幕は如何なる景氣の中に開かるゝであらう。此れをもつて、ごんな人氣の前のポーツマス條約の如くあらぬことを祈念する。當時の騷ぎに就ては小村侯の回顧談を曾て本紙上に記したことであつたが、最近又小村侯より次の一奇話を得た▲イヤ今からして思ひ出すだけでもゾッとしますが、大使をはじめ母や私や妹の石碑を細に書いてさ『何月何日までには、一族擧つて此の通りにならねばならんのだ……』といつて精細な石碑の圖を郵便で送つて來たのには、家族のもの一同はほんとにアッと言はざるを得なかつたです▲そして其の墓地に、父や私や妹などが幽靈になつて出て居る所を書いて居つたのには驚いたです。實際此の種の手紙は無數に當時の外務省の官邸へは舞ひ込みました。今頃まで保存して置いたらさぞ面白かつたらうと思ひますが』▲所謂戰後の恐慌が何時來るかといふことは神知るのみであるが東京市內の銀行で船株鐵株などを擔保に抱いてゐたものは隨分の苦境に陷つてゐるらしい▲しかも普通銀行でこれらの戰時株を擔保にとつてゐなかつたのは寧ろ少なかつたといつてもよい位だから表面は今の中喰ひ止めてゐるものゝ、實際を暴露したら手傷は相當に多いだらうとのことだ▲そこへ行けば不動產擔保は安全なもので東京市中の不動產を見積るとザット一億六千萬圓これに對する銀行その他の放資は一千萬圓を越す位のものに過ぎないから、普通銀行としても不動產に目をつけ餘地はあるはずだとはある銀行家の話

雜誌抄

◆女の晴著を造るのには一反歩の桑を要する

一體日本の女の衣物一枚には何れだけの絹絲が使はれてゐるかといふに女の假りに上衣は縮緬、裏は紅絹、長襦袢は縮緬、同裏地絹、縮緬半襟、珍の帶、縮緬帶上、それに帶〆、腰帶などを合せると左の計算が出る

絹絲 計(一貫六百九匁)其の繭が(一石一斗升四合)其の繭が(三萬四千四十三匹)飼養用桑 百七十五貫

即ち約三萬四千四十三匹の蠶が桑百七十五貫を食ひ盡すのであるが之に何か日に一畝の桑園が必要となるのである、掘立て四十人の人と百七十五貫の桑を要し……ち中等桑園一反歩分を要するのである(朝鮮蠶業時報)

賦得朝晴雪 木梨天來

朋旭臨晴雪。玲瓏照大千。已知同暖律。隨處泛祥煙。萬里天光淨。千林瑞色鮮。靜聽茅屋外。春信野梅邊。堯曆呈嘉瑞。舜田卜有年。況逢兵正息。獻頌賦新篇。

己未元日 藤井吾龍

三元開景運。淑氣滿東瀛。獨國先休戰。聯邦已解兵。古梅薰玉蕊。小草燦金英。朝把屠蘇盞。玲瓏嶽雪晴。吾屋離城市。山光入戶庭。石頭呈表壽。松上鶴延齡。餞歲詩猶拙。迎春酒自醒。賦他投刺客。憑几讀盤銘。

財界の新舊人(七)

西海生

鐵道の幹部(二)

岩曾根秘書主任

鐵道局三代の總務課、京城管理局になつてからの庶務課、それが十日から失くなつて一秘書室に變じたと云ふ事は、色々の事を記者に思はする、總務課と云つてゐた時は、以前久しく兒玉伯が課長を兼ねてゐた關係上、その權限は仲々廣かつた、末期に至つて今の本府事務官和田駿君が三十二三の若さで課長の椅子に就き、剛腹と背後の勢力を以て局を腕の廻し、某雜誌と久しく確執を生じて盛んに爭つた事もある▲鐵統一後和田君は本府に轉じ、庶務課長には君の次席の鷲尾弘準君が引上げられた、然し鷲尾君は年も若し、坊ちやん然たる所あり、課長としての貫祿を疑はれてゐた、それを君は自得してか、若くば曾社が嫌になつたのか、去年の春退社して郷里に歸り、更に當時の內閣翰長兒玉伯に縋つて統計局の事務官に任官した、乃でお鉢は庶務課庶務係主任たる岩曾根當五君──新秘書室主任に廻つたのである、然し君は二十餘年鐵道生活を續け來り、何から何まで明るくなつて居るとは云へ、運輸の安藤君、工務の川江君、工場の黑澤君、并びに三君の部下の二三主任連に比し、その經歷に於て一歩も二歩も讓らねばならぬ點があつたらしい、そこに文書調查監理及び最も局內に幅の利く人事を扱ふ庶務課長としての君は何しろ苦しい立場があつたとの說もある▲君は橫濱の人、明治七年に生れてゐる、前農商務大臣として物價の調節に天下を騷がした仲小路廉氏の少年不遇時代、ドコかの裁判所の下級職員として一しよにゐた事もあるさうだ、三十二年──と云へば二昔前だが、鐵道作業局に就職、來鮮、三十八年臨時鐵道監部附となつて軍の書記として大正二年七月參事補任官まで仲々よく働いた、イヤ參事補となり、總務課庶務係主任に進んでも極めて上下に圓滿に又よく働いた、更に庶務課長心得となつてからは一層目立つて働いた、君程忠實に働く人は多くなからう、內部のみならず、外部でも君のよく務むるのに感心してる人が多い、此の働くのは確に君の長所、又君の僻竅を拔いてメキ〳〵頭を擡げた一の理由である▲秘書室主任と云へば、つまり秘書役と云ふ所であらう、結局君は課長でなくなつて、その寄貿うた少々位ホッとしたかも知れぬ、或は人知れず荷を下したわけ、秘書室主任としては精勵恪勤、その能力の傾注所が狹くなつただけに更に目立つて働いて來るだらう、何しろ君がトン〳〵拍子に庶務課長の椅子に上つたと云ふ事は、一萬の局員から隨一の幸運兒、鐵になつてからの儲け頭として羨まれてゐたものだ、その羨望を今回の課長退任は幾分緩和したであらう、課長を退いて一主任となつたものにはそれを前にしては車輛長の佐藤三郎君あり、各種の點より見て必しも君に不平は起るまい

本紙定價 一箇月金……郵稅…… 廣告料 …… 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 …… 振替京城三〇〇番 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

朝鮮彙報

大正八年壹月號(毎月一回) 定價二十五錢 郵稅一錢五厘 一頁金七圓 會費料 販賣店 鮮內地各書肆

口繪 ◯拓本 慶尚北道軍威郡所在麟角寺碑 ◯朝鮮輕便鐵道列車運轉狀況寫眞 ◯歲首の辭 ◯技術官に對する總督訓示 ◯大正七年に於ける朝鮮 ◯金融聯合會 ◯朝鮮の牧羊 ◯朝鮮に於ける染色工業の勃興を促す ◯江原道三陟郡の水產事情 調査及研究 雜錄 統計

石灰販賣

平壤小野田セメント會社製

京城古市町 苦米地商店 電話九四〇番 振替京城三一〇八番 (3)

婦人之友 二月號 若き母親號

病者の福音 初產の經驗 婦人長話 內職案內 長篇小說 金扇 渡邊霞亭

定價廿五錢 東京神田表神保町 東京家政研究會

七日目勝負

散歩にのりだし ポケットにもたれこみ 非衛生に小手をふり 不消化をあたすかし 倦怠をひきおとし 貧血をすくひなげ 煙草をうつちやり

森永ミルクキャラメル

模範牛乳 李王職御用 ニウソ 石鹼洗粉 京城黃金町四丁目 東亞牧場 電話二五一番

最新刊

朝鮮法規提要 朝鮮教育研究會編 一代女 裏門から 京城本町一丁目 大阪屋號 電話急至入用 八五五番へ

正則英語學校講義錄

齋藤秀三郎監修 大正八年一月新學期開始會員大募集!!

光輝ある平和の春を迎へ英語の必要は刻下の最大急務なれり乞ふ速かに來れ

本校主齋藤先生が嚴密なる監修の下に英語界の重鎭たる正則英語學校講師一同各自得意の部門を分擔執筆せる天下唯一の理想的講義錄 …… 名實共に斯界に匹儔なき我校講義錄に來たれ

講義錄見本つき會則進呈 電話又端書にて即刻申込まれよ

會費一ヶ月廿五錢 各級半年卒業

東京神田區三崎町一ノ九 正則英語學校講義錄發行所

呼鈴界の革命

總本式 自働呼鈴盜難豫防兼用機

本機は在來の機械と違ひ電池や藥品の如き消耗品を用ひず一度取付れば永久に金をかける必要なく然も一個の機械で左の如き諸働きをなす最も經濟的にして嶄新な機械であります

盜難 豫防 呼鈴 來客 報告

定價 A金七圓 B金六圓五十錢 外專用來客報知機等各種

本機御注文の節は見本持參直に店員御伺ひ致ます

製造發賣元 東京セイキ商會 朝鮮總代理店 京城本町三丁目 山崎商店 電二四四七番 振替京城五〇五〇

事務員一名、外交員一名、電線架設上經驗ある者至急入用希望者本人來談

移轉御挨拶

光輝ある平和第一年の新春を相迎候事同慶至極に奉存候偖而平素御引立を辱ふせる製品美乳化粧品及大學化粧品共に以御庇逐日隆昌に相向候に就而者工場完備の要有之左記へ新築中の處一部落成仕候を機とし今般營業所を之に移し申候條何卒倍舊の御用命奉切望候更に新築完成を待つて御披露可申上候得共不取敢年頭の御挨拶に併せて右得貴意度如斯に御座候

大正八年一月

美乳化粧品 大學化粧品 本舖 大阪市東區農人橋一丁目八番地 矢野芳香園合資會社 電話長東九九九番

RUDGE-WHITWORTH LIMITED 英國皇室御用 ラーヂ自轉車 絕世の信用と名聲を有する自轉車は 安心して乘れる精良無比の自轉車は

有名なる自轉車店に販賣す 京城南大門通三 日米商店京城支店

コールタール

電氣會社特約販賣 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

木材新荷着

右仁川海著荷 北海道松二分五厘板數萬坪 上中品位ノモノチ撰別ナクシテ結束ナシアル故使用上特殊ノ利益アリ

右京城著荷 鴨綠江產紅松良原岸本 二間三間三間半四間 尺五寸以上 京城府黃金町 丸一材木店 電一三八番 出張所 新義州本町 電二五八番

◇西伯利鐵道問題 日米協定成立經過

西伯利鐵道問題は今期議會の大問題たるべき形勢となれり其經過の大要を聞くに昨年九月馬尼刺兵の沿海出兵の事あるや指揮官スタイヤー大佐は西伯利鐵道の不整頓を見てケレンスキー時代米國と爲せる約束に基き

△鐵道修繕を スチーブンス技師長に爲さしめん事を大谷司令官に提議せるも右は司令官の職權のみにて解決し能はざるより交渉を東京に移し爾後米國大使モーリスと内田外相との間に屢々交渉を重ねたるが意見一致を見ず時に英國のジャック中佐の提案により右は西伯利鐵道を四箇に分ち(一)後貝加爾以西西伯利線(二)東清線(三)黑龍線(四)烏蘇里線とし露國主權を尊重の意味にて露人を總裁とし其下に聯合各國委員を置き運輸經營の任に當らしめんとするものにて之に依り日米國の意見

△漸次接近し 來り遂に一定成りて我政府の意照に對し米國の回答あり次第發表の運びと成り居れる由尚米協定案なるものは目下極秘に附せらるゝも所謂前記の如く露人を總裁に擧げ事實上聯合國の共同管理とし東清線のみは日本の位置尊重の意味にて日本より選む可しと傳へらる(東京特電)

◇東清鐵道車輛改善著手

東清鐵道は軌幅五呎七吋を有し該鐵道を我管理下に置くが爲めには差當り車輛其他の用意を爲さざる可らざるより我當局は目下急速力にて工程を進めつゝある由なるが歐米の如きは既に多數の車輛を長崎、横濱に送り來り時機の到來を待ちつゝありと而滿鐵車輛は一切を用ゐざる由なり(東京特電)

◇南方代表者決定

南方和議代表者決定し其旨正式に北京政府に通告せり(上海特電)

◇和議又復行惱か

陝西省の風雲急にして北軍の許蘭洲氏の司令部を陝西省咸陽に設け張錫元氏の進軍を見たれば又復和議問題に關し一の故障を生ぜり(上海特電)

◇對露政策質問 外相上院各派交渉委員招待會

內田外相は十七日夜貴族院各派交渉委員を官邸に招待し前夜同樣外交經過報告を爲し終りて高木兼寛男、西伯利にある聯合軍兵數如何と訊せしに外相、米國七千、佛伊合せて四五千日本約二萬なり江木千之氏、西伯利鐵道管理に就き日本と聯合國と

△意見の扞格 ありと聞く如何外相、右に就ては列國種々の意見を主張し居るも救援事業を遲延せしめ居る事斷じて無し結局列國委員會を設置し具體的協議を爲す可し淺田德則氏、東部西伯利に於る露國代表機關如何外相、オムスク政府系統を以て代表機關と認む高橋作衛氏、日米の西伯利鐵道管理範圍は勢力範圍に依り區域を決せるか外相、右範圍の大體は烏蘇里、黑龍兩線は米國側に於て管理し東清線は日本側に依り管理され居るも

△協定の目的 はイルクーツク以東全部を包括せり而して其管理方法は日米兩國相提携するものにして決して各方面を分割管理するものに非ず更に淺田氏、日本の西伯利救援事業は面白からざる風說あり如何外相、西伯利の現狀は特に砂糖、油等に缺乏し居るを以て約百萬圓位の物資を輸送せるも鐵道運輸力と供給圓滑ならざる爲め救援事業意の如くならざるを遺憾とす加之露人亦對面上救援を好まざる感あるを以て寧ろ賣買等の方法を執らんとすれど より甚だ困却し居れり高崎親章氏、前露國皇室の悲慘なる運命は事實なりや外相、多分事實ならん高橋作衛氏、破壞せる獨露兩國が結合せば外交上由々敷き大事ならん外相、勿論なるもオムスク政府と存在し居れば右は萬無からんと答辯し之にて質問を終り食卓を開き九時散會せり(東京特電)

◎首相官邸閣議 對議會策協議

十八日午前十時より首相官邸にて閣議を開き首相以下各相皆出席對議會策に就き協議したる後朝鮮事業公債法中改正案大正八年度總豫算案並に各特別會計豫算其他を附議可決し午後四時散會せり(東京特電)

◇憲政會最高幹部會

憲政會最高幹部會は十七日夜七時より加藤總裁邸に開き幹部諸氏出席し來る廿日開會の大會に附議す可き宣言決議、政策、役員選擧等に就き秘密裡に協議し午前零時四十分散會せり(東京特電)

◇憲政會政務調查委員總會

憲政會政務調查委員總會は選擧權擴張問題に就き最後の決定を爲す可く十七日午後二時より本部樓上に開催委員出席普通選擧論者其他議論等あり結局幹部の意見通り納税二圓案を可決し又乙種實業學校を除く中學教育卒業者に選擧權を與ふるは可なるも兵役を終れる獨立生活を營む者に選擧權を與ふるの項は削除するに決せり(東京特電)

◇總督東京著

長谷川總督は李王世子殿下御婚儀參列の爲め齋藤副官袖田秘書官大島副官を隨へ十八日午後一時五十分東京驛に著せり兒玉伯、山縣總裁、鈴木度支部長官、原田朝鮮郵務、三島朝鮮銀行總裁、木村殖銀理事、高李王職事務官等多數の出迎へありたり(東京電)

◇有地男爵薨去

海軍顧問官海軍中將(退役)男爵有地品之允氏は十七日午後一時四十分肺癌にて薨去せり(東京電)

□略歷 有地男は山口縣士族有地藤馬の三男弘化二年三月十五日を以て生れ明治元年十二月家督を相續す同年藩主の命を奉じて英米佛の軍艦を攻撃するに當り從軍功あり戊辰の役又戰功を樹つ同三年普佛戰爭觀察の爲め渡歐同四年陸軍少佐に任じ後海軍に轉じ西南の役に勳功あり爾來累進海軍中將に陞任し同廿八年常備艦隊司令長官となり偉勳を奏し特に華族に列し男爵を賜ふ同卅年貴族院議員に勅選せられ又海軍協會理事長に推さる幾に樞密顧問官に任ぜられ其職に在りたり

◇内山侍從武官長

内山侍從武官長は十九日朝哈爾賓より來長同夜十一時長春發南行の豫定なり(長春特電)

◇古賀拓殖局長官

古賀拓殖局長官は議會終了後各植民地を視察す可し(東京特電)

◎京管連帶擴張

釜山尾の道間、釜山鐵道の海路阪神連帶輸送に二十一日より尾の道滿鐵京城管理局と澤山汽船との間に加ふる事となりしが釜山尾の道間は鮮貨百石百三十圓接續賃七圓豆粕一英噸三十七枚に付運賃八圓接續費五十錢なり

◎高値は警戒 正米相場と金融 某銀行家談

米價は供給不足を氣構へ農家の賣惜みを加味し底意頑強容易に低落せざれど前途政府の米價調節策と外米輸入豫想可能とにより一般に高値は警戒を怠らざる者の如し乃ち米穀に對する金融の狀態を見るに昂騰の氣勢を現はし來れば金融は意外にも緩漫平靜狀態に落ちつき更に下げ足となれば金融の繁忙を來す事之れなりかゝるは全く金融上反對の現象にて寧ろ上げ足に繁忙を呈し低落に金融の閑散を現はさゞるべからざるに事實の此の變調を體現せるは全く一般に米高を政府にて打捨ておくまじとの見當より調節策を危惧せる所よりくれるものなるべし從つて京城相場正米三十三四圓以上は大なる仲力を素より望み難かるべしさりとて其下値も徹底調節法の講ぜられざる限り淋しかるべく結局持合圏内の往來を姑く繼くるにあらざるか

◎京城將來の工業(二) ＝漢江水力利用に就いて＝

漢江水力發電裝置と冬期の結氷

水力地點の遠隔等が水力利用に障碍する障碍たるが如く石炭の競爭も亦其の障碍の一たるより石炭を使用すべきか水力を使用すべきかは偏に利益の大小によつて決す故に漢江の水力電氣が

▲事業上市民 に供給し得るに至りたりとするも尚石炭との競爭を免れざるべく況んや未來の事業たる本計畫は更に石炭の壓迫を受くるものなり若し將來撫順炭九州炭又は朝鮮産石炭の價格下せば強ひて水力電氣使用の問題を提起するの必要を見ざるに至るやも計り難し次に需要の不足も水力利用に對する障碍の一たるべし京城より二十五里以上を隔つる水力地點を利用することせば當所より充分の收益見込確立し居らざるべからず蓋し水力發電裝置には巨額の資本を固定せしむるものにして

▲需要の多少 に應じて自在に伸縮せしむる事能はず然るに京城の動力需要狀況を見るに當事電燈等最も多く電氣を使用するもの及び其他貨會社水道設備等は皆火力を以て相當の成績を擧げ居れるが故に水力電氣の顧客として期待すべからず其他の諸工業に在りても少量の動力を要するに過ぎずして未だ漢江上流に巨資を投ぜしむるが如き狀態に至らざるなり

(乙)運輸機關としての漢江 漢江は其外觀上運輸機關として極めて有要なるが如し蓋し南漢江に在りては河口より忠清南道丹陽郡永春迄約七十里北漢江にありては江原道楊口迄約六十里の間に舟楫を通ずるを得京城は鐵道の中心地たると共に漢江流域の

▲物資を吸收 する最も樞要の地點を扼せるものと謂ふべし事實上日露戰爭前後迄漢江は京城の交通運輸機關として獨占的地位を占めたるものにして現在に於ても米豆薪炭の輸送上多大の効果を揚げつゝあり然れども京城工業界との關係に於ては多く認むべきものなく煙草蠶繭等の原料及び商品共に汽車便を利用しつゝあるが如し加之漢江をして將來工業關係に効果あらしめんと欲せば運輸の安全正確迅速の度合を增加せしめ尚ほ大量の輸送に堪へしめざるべからず然るに京城の工業界は鐵道を使用する外強て漢江を

▲所謂近世式 に利用せざるべからざる程に發達し得るや否や只現在の如く朝鮮舟の舟楫に放任して鐵道の小なる補助を爲さしむるを却つて有利とせざるやは漢江を近世式に利用するには其の障碍ある事を記憶せざるべからず(イ)河深の淺きことにして漢江は其の流域廣大にして水量亦豐富なりと雖も所々淺瀨又は洲の存在するあり此等を浚渫して以て河の整理を爲さざれば交通路たる機能を發揮する事能はず若し能ふべくんば京城と河口との間に少くとも百噸級の汽船を自由に上下せしめ得る程度に

▲水深を深め 京城より上流(南漢江は忠州迄北漢江は春川迄)は少くとも百石積の和船を航行せしめ得る程度に浚渫せざるべからず然れども斯くの如きは巨額の費用を要し現在及び近き將來に於て京城の財力を以てしては到底企圖し難かるべく又假令之を爲し得るとするも京城の工業が之を活用し得るや否や疑問なりとせざるべからず(京城商業會議所調査)

◎巡閲使署幹部

東三省巡閲使署成立及び參謀長決定の發表は明報の如くなるが今其の幹部の主なる者を擧れば左の如し ▲外交處長于沖漢 ▲軍務處長[illegible] ▲内務處長金梁 ▲[illegible] ▲軍醫處長[illegible] ▲軍法處長[illegible] ▲協管處長[illegible]

◎殖銀と天安

京釜線天安は米産地として最近著聞し來れるが金融機關は一の湖西銀行支店あるのみにて不便甚だしければ頃來朝鮮殖産銀行の支店若くは出張所新設運動のため同地有志は近く殖銀と出張し交渉しつゝありと

◎暗黑歐洲追憶(一) 貴族院議員 石黒五十二氏談

倫敦に於ける會議に日本代表として列席し此の程歸朝したる石黒貴族院議員を訪ひ旅行中の見聞を叩く(東京電)

日本を出立したのは昨年三月二十七日で、當時は航海が頗る危險な節であつた爲め、米國を經由して行かなければならなかつた。先づ桑港に上陸し後鐵路ニユーヨーク市に向つたが、其の途中シカゴに下車して領事館を訪問した、ところが偶然にも當時の英國及び歐羅巴の事情に精通してゐる紐越海軍少將に遭つた、同少將は大西洋

▲横斷の危險 なことを語り、且つ航海中は餘程氣を付けなければならぬといふやうなことを親切に注意して呉れた、又當時は恰も四月上旬で獨軍が再び西部戰場に大攻撃を加へてゐた頃であつた、これからニユーヨークから大西洋を横斷して英國へ行く迄には、戰況の如何によつては英國の國内が危まれる、又獨英中如何なる變動が起らぬとも限らぬ、といふ風に餘程同少將は當時の戰況を悲觀してゐた、其れを聽いては自分も餘り好い氣持はしなかつた、併し

▲左樣なこと のみを考へてゐる時では無い。やがてシカゴを立つてニユーヨークに行つた最初日本を出發する時、日本駐剳グリン英大使から注意されたが、其は航海の危險な時であるから如何なる船を選定して米國から英國へ渡つたら好いか、そのことを英國總領事と相談をした方が好からうといふことであつた、そこで先づ此の注意の如く交渉をしてゐた航の日取りを通知して貰ふことにして其れのあるを待つてゐたのである、然し容易に其の通知は來なかつた、其中に某劇場の芝居に招待されて見物に行つたが

▲その藝題は 飛行機に關係したものであつた、乃ち其筋書を簡單にいへば斯うである、こゝに本職飛行機操縱家と或る大家の令息が互に競爭をするといふのであるが、其れは何の爲めに競爭するかといふに、某大家の令嬢が飛行機操縱に熟練した人と結婚したいといふのである。或る大家の令息は其の令嬢と結婚がしたさに今までは飛行機に對しては全くの素人でありながら、一生懸命に練習をした、そして遂にニユーヨークとヒラデルフイヤ迄の競爭を遣ることになつた。所が今まで全くの素人であつた某大家の令息は、その本職の飛行機

▲操縱家に勝 つたので、そして、これから飛行機に乘つて競爭に出やうとする時、令息に取りては命懸けの仕事である、再び生きて地上の人となれるかどうか分らない。そこで恰も遺言同樣の言葉を遺して令息は出立した

◎鮮人看守女監取締給與規程改正

鮮人看守及び女監取締給與規程中改正の件は二十日官報を以て公布即日より施行のことゝなる可きが右は監獄職員加俸額改正に因るものなり

◎京畿金融現況

大正七年十一月末現在京畿道管内水原地方金融組合以下二十四組合の金融狀況を聞くに組合員合計一萬一千五百二十二人にして前年同月に比し一千四百零四人の增加にして一組合平均人員は四百八十人の割合となれり而して利益金は合計四萬七千四百五十圓にして一組合平均に見る時は千九百七十五圓となり前年同期に對比し六千六百九十九の減少を見たり今資產及び負債の内譯を示せば左の如し

▲負債の部 出資金十二萬三千四百六十七枚 下附金二十四萬八千七百二十圓 損失補塡準備金六萬五千零四十一圓 特別準備金七千六百二十圓 借入金六萬四千三百四十八圓 預り金拾萬零三百三十六圓 鮮銀代理店千三百五十一圓 雜勘定七萬四千五百十三圓 利益金四萬七千四百五十圓 合計七十三萬一千八百七圓

▲資產の部 未濟出資金七萬五千、百九十圓 貸付金三十六萬二千三百八十四圓 共同購入金千五百二十圓 所有土地建物[illegible]

◎京畿私學狀況

京畿道管内に於ける大正七年十二月末日現在調査に係る鮮人教育私立學校數は一般に關するもの六十五校宗教に關するもの四十一校合計百六校にして本年中設置さるべきもの一般校二あり而して本年中廢止さるべきものにして一般に關するもの十校宗教に關するもの五校計十五校ありと

◇滿鐵大輸送計畫

滿鐵會社にては從來の消極方針を捨て大正八年度より大輸送計畫を樹立し同年度中に機關車四十輛客車六十輛貨車一千輛以上を建造する事に決し輸送力充實と共に内部の改善も行ふ筈にて豫算概略三千萬圓を計上せり七年度豫算追加とも一千五百萬圓に比し一躍倍額と成れり(大連特電)

◎輕鐵運輸開始

朝鮮輕便鐵道株式會社慶北線大邱佛國寺間輕便鐵道運輸開始の件は既報の如く其筋に出願中の處一月十四日附認可ありたるが哩程左の如し

驛名	哩程	累計
自大邱至河陽	[illegible]	[illegible]
自河陽至永川	四七	四三、〇
自永川至佛國寺	二四	五〇、一

◎大青島捕鯨狀況

東洋捕鯨會社の經營に係る黃海道長淵郡大青島に於ける捕鯨事業開始以來成績不良にして一頭の漁獲もなかりしが十一月下旬に入り牡長六十七尺價格九千圓の牝長七十三尺八尺二頭九千圓一萬圓外三頭の捕獲ありたり

◎學校組合認可

豫て富雪太郎氏外三名より申請中なりし全南麗水郡南面に安東學校組合設置の件は一月十七日を以て許可せられたり

◎本田博士出張

總督府勸業模範場長農學博士本田幸介氏は九州帝國農科大學創立委員及び文部省と事務打合せの爲め十七日附九州及び東京へ出張を命ぜらる

◎重馬の拂下

龍山重砲兵大隊にては來る二月中旬頃西伯利出征重馬約三百六十頭を競賣に附する由なるが希望者は來る二十八日迄に京城府内務係りへ申込まるべしと因に右重馬は一頭六十圓以上三百二十圓以内なりと

□佛國寺にて

十五日 大町桂月

豐年鯨身を殺して仁を成す 輕鐵にて浦項へ參り甲候岐の本場にて本年は大漁の由に候 この地に面白き神話有之迎烏郎細烏女の夫妻日本の一島に漂流し夫は王となり妻は王妃となる新羅爲めに日月暗し。新羅王使者をつかはして呼び返さしめしに人民なつき居ることなればとて肯ぜず細烏女の織りたる布を贈る之れを祀りしに、日月再び明かになれりとかや

海外治民死不休。男兒意氣足千秋。攸他子爵龍鬪。繼々遲邇容白頭。

人事消息

▲石田新任法官部長 十八日朝南山客寓
▲田中三郎氏(東洋拓殖會社京城支店長) 十八日夜入城巴城館へ
▲和田爲次郎氏 一夜遺城

◇……鳥瞰錄……◇

▲大隈侯の大風呂敷には鳥渡他人で眞似の出來ない頗る奇拔で面白い處があるから嬉しい▲戰後歐洲では鐵が大變な富になるだらう何故かと云ふと敵味方兩軍が日々打出した大砲の彈丸でも數千噸に上つて居る▲其の數千噸が四ヶ年の長い間一日も缺かさず空中に打ち上げられて土の中へ打ち込まれてある▲其の總噸數は蓋し驚くべき額に達して居るから戰後白耳義や佛蘭西の窮民が畑の中から之れを拾ひ出す事になつたら▲たしかに大鐵山の發見と同じ事であるんであるとは御都合主義の由りて眼侯のお愛嬌▲西伯利鐵道問題も八釜敷問題の一つになつて居るが親しく同線を乘廻して來た斯道の人の談に依ると頗る心細いものだ▲今二三箇月も此儘で運轉すれば遂に西伯利線は全線に亘つて運轉不能に陷るだらう▲現在の程度に於ては危險の程度は車輛に最も多く客貨車中車軸の完全なものは一つもない▲ボックスウイストの如き悉く油氣など含み居らずスプリングの故障とビームの損傷バツフアの破損カツプラーの不能▲殊に懸念であるのはボイールフランジの磨滅破損等であつて此等は實に鐵道運轉の生命にする重大事である▲其他軌條破壞等は解氷期を待たず事故頻出遂に全線に亘つて運轉不能を見る事は受合だと▲受合ふ斯う云ふ受合は頗る有り難くない扨て之れが修繕と云ふよりも改造を何處でやるか文句はあつても之れが改造をやつた方が實際の權利を握る譯だ▲大阪では又々例の流行性感冒が再襲して死亡者を續出して居る▲死んだと思つたお富さんより感冒菌が生きて居たのはお醫者樣でも知らなかつたのか▲此奴丈けは逃る所がないから御用心々々

大阪株式特電 十八日 東洋紡 前場/後場 同鐘紡 [illegible] 合同 [illegible]

東京株式 東京株新 / 同 / 大阪 一九八、〇〇 一七八、〇〇 / 一九九、四〇 一七八、五〇 二八二、〇〇

郵船新 同 鐘紡新 同 / 一九六、八〇 九七、五〇 / 二五六、一〇 二三八、四〇

東京現株特電 十八日中値 東拓 鐘紡 / 一二〇、〇〇 八〇、〇〇

商船新 同 郵船新 同 / 一六二、〇〇 一一〇、〇〇 一九五、〇〇 九六、〇〇

神戶期米特電 十八日 安値 止め 三八、四五 三八、四〇 三八、三四 三八、三四

下關期米特電 十八日後場 先限 三百十八圓九十錢

仁川期米 十八日後場 寄付 先限 中限 寄付 三十九圓四十九錢 三十八圓六十錢 三十八圓五十一錢

平均値 沒五十二錢 先限一節三十四錢 [illegible]

十八日の三月限 後場 寄付 止め 高値 安値 三十四圓七十九錢 三十四圓七十錢 三十四圓六十九錢 三十四圓七十二錢

▲四面の欄外に

謹賀新年

特許實專 **ナショナル精米麥機**

自働扇風機裝置

雲上御嘉納 畏き邊の御嘉納

本機は戰勝の新年を迎へて 成績!! 信用!! 賣行 斯界第一

明治神宮御供米精白御用
御即位式齋田米精白御用
農商務省農事試驗場御用
東京府立農林學校御用
各博覽會最高賞牌受領

發賣元 東京淺草區諏訪町二〇 陸軍御用 精工商店 特長電話下谷二七一七番 振替東京一二六六八

實業之日本

戰後の趨勢
▪物價今後の趨勢 法學博士 井上辰九郎
▪戰後經營の龍骨 男爵 大倉喜八郎
▪戰時事業の前途 淺川牛
▪戰亂の置土産 文學博士 建部遯吾
國際聯盟成立の先決問題(社說)
量目統一の急務を論ず 工學博士
世界的大國民としての修養 博士 浮田和民
民本主義の思想が求むる所 新渡戸博士
一億圓以上の會社
を切つて廻す人々 五十嵐
伯林公會の思出
病める人に與ふる書 平野太郎
落魄の眞味 (紅楓)
健康に良い睡眠時間 三宅博士
日常生活十五則 櫻田學士
足並の統一 舟田社長

一月十五日號 定價 東京京橋 實業之日本社

齒科醫院開業廣告

齒科醫士 利根川清治郎

私儀今般滿鐵京城管理局鐵道醫及龍山鐵道病院齒科部長ヲ辭シ左記ニ開業汎ク齒科診療ニ從事致候

京城本町一丁目(江戸川横入 岡本齒科醫院跡)

利根川齒科醫院

最新刊 大々高評忽卅版 ポケット形約三百頁美裝本堅牢 **式辭演說 名士評 五分間演說集**

平素よく辯舌る人も一度壇上に起ちて一言半句も出し得ざる人多し之れは修養の足らざる爲にして本書に依り充分修練し自信力を得ば如何なる素人も決してマゴツカず見違へる程の雄辯家となり得べし 本書中には社會一般の宴會、集會、儀式の席上に於ける演說祝辭の模範を網羅せり

定價 送料共金五十錢 東京赤坂 日本青年通信社

商業登記公告

京城地方法院

京日案内

事務員入用 / 給仕採用 / 給仕入用 / 監督社員招聘 新田株式店 / 代診生至急入用 / 外勤社員招聘 石川病院 / 醫師至急採用 小川醫院 / 事務員招聘 / 外勤社員募集 / 有給社員募集 明治公債 / 毛皮なめし仕立

□新年歌御會始
兩陛下鳳凰間に出御

新年歌御會始めは十八日午前十時より鳳凰の間にて御擧行あらせられたり當日午前九時半入江題者を始め點者其他役員一同式場に入り次に御歌所寄人參候拜觀差し許されたる三好傳育官長以下奉迎外賓の間に參集しての準備整ふや　兩陛下には波多野宮相以下を從へ出御玉座につかせられ講師以下披講の席に就き懷紙を引出し御硯蓋の上に安置し講師先づ年の始めの御題により『朝晴雪』と言へるを詠める歌を朗詠し選歌より披講を始め下臈より上臈に及び臣下の披講各一反畢り皇族方二反次に皇后宮御歌を講ずること三反最後に讀師徳川侯　陛下の御前に伺候し御懷紙を拜受し講師を始め講頌の諸員頌和し講ずること五反畢りて　兩陛下には諸員最敬禮の裡に御機嫌麗しく入御あらせられたり御製並に御歌左の如し(東京特電)

御製

ゆたかにもゆきそつもれるあきつしま
めくりのうみはあさなきにして

皇后宮御歌

あをくもににほふひかけものとかにて
ゆきさへかすむこのあしたかな

外遊の思出
獨逸氣質と佛蘭西氣質(上)
顏の疵を自慢する獨逸大學生
敬意を表する爲に決鬪の御馳走
ドクトルメヂチーネ　工藤武城氏

曾て歐米各國に遊んだ諸名士の追憶談を蒐輯することにした。時と所と經驗と觀察とを各々異にした人々の話材を綜合すれば各國の風習から國際關係、國民性、民族性、思想の傾向等が各々色彩を異にして織り込まれるであらう。それは講和會議を目前に迎へて居る我々に取つて何物かを語るであらう

『赤毛布式の面白味から云へば僕自分が經驗した珍談奇話は甚だ貧弱ですが、數年間の留學生活と、大戰勃發當年の再度の渡歐から得た見聞或は感想には多少の話材が無いでもありません。僕は

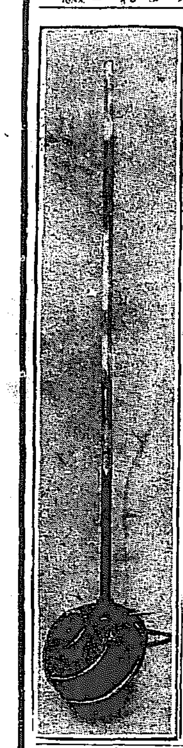
滯歐の大部分
を獨逸に送りましたから順序として獨逸に於ける留學時代の思ひ出から始めませう。こゝで云つても僕自身の經驗ではありませんが誰でも獨逸で學生生活を送つたものは幾度となく見せつけられるのは名物の決鬪です。此の決鬪には二種類あつて、一はメンズル、一はルエルと呼ばれて居ります。日本では之を一緒にして何れも『決鬪』と譯し居りますが、ルエルの方は決鬪と譯しては生温い感じがします。メンズルは

學生間などに
盛んに行はれて居てさほど危險が伴なはない方です。即ち雙方談合の上決行し、眼には頑丈な鐵眼鏡を掛け、胴及び腕には夫々武裝を施して寫眞のやうな決鬪用の劍を以て切り合ふのです寫眞の劍は私がバイエルンのイルツブルグ大學に居た時に賞品として學校から貰つたものです。鍔は恰度ヘルメットのやうな格巧で色別はバイエルンの國旗を表し刀身は約三尺で鍔元から中程までは

月桂冠戈大砲
國旗等種々の武器や學界の品が彫込まれて居て切つ先は鋸のやうにデッコリ切りこなつて居る。而して鍔元に彫つた文句に『イルツブルグ大學は日本よりの學者ドクトル工藤君の業績に對し此刀を贈るの名譽を有す。一九〇三年より一九〇四年に至る』と云ふ。學校の賞品に決鬪用の劍を與れる位だから決鬪の盛んなるは推して知るべく、大學生は顏面の疵の多きを以て誇り、大學を出ても決鬪疵の無いものには

獨逸娘は嫁入
らぬと云ふ有樣……

僕が入學した當時、工藤君に敬意を表する爲め決鬪を御眼に掛けやうと五六人の學生が決鬪をやつて見せましたが、敬意を表する爲めの御馳走には驚きましたね……(青萍)



◇決鬪用の劍

◎詠進歌に就て
御歌所寄人　大口鯛二氏談

今年の勅題は爽快な御題であつたから非常に佳良な歌が多數であつた。畏きながら御製は頗る雄大な御歌で其中に御代の榮ゆく意を拜し奉る事が出來る皇后陛下の御歌は非常に優美に拜見する入選せし七首も皆優れた歌で殊に立花高山兩氏のは暗に時局の意を含んで居る高山女史は岡山で裁縫師に成つた程の人で頭腦明晰此度は二度目の入選なり澤田氏は敬神家で私財を投じ小御門神社を造營した程の人なり林氏は歌道に非常に熱心で毎年は百首も歌を詠じ其中の一を詠進したのである(東京特電)

◎朝鮮の詠進歌
詠進歌總數は二萬七千八百廿二首に達し中朝鮮よりの詠進數は二百八十八首にて京城府よりの詠進數百五十六首なりと(東京特電)

◎早稻田實業の講師になつた
女英學者
水戸部女史

本邦婦人で男子の學校の教師をしてる人には東京府立第四高女の北村達谷氏未亡人美那子さんがあるだけだが今度

△英學者の 水戸部淺野女史(三一)がこの新學期から早稻田實業學校の英語會話の講師として聘せられ幾多の男生徒を相手に教鞭を執る事になつた。女史は栃木縣の出身で東京府立第一高等女學校から日本女子大學英文科に入り同校卒業後暫く母校に教鞭を執つて居たが旋て米國に留學し、ミシガン大學を卒業してマスターオブアーツの稱號を得て目出度く歸朝したのは大正三年の夏の事で、爾來英文學の研究に沒頭し傍ら本田淺歩氏の小説日の出島頭末外の『菊の悲み』外數篇を英譯し歩選集に公刊して一時其の文を博し昨今は更らに研究の歩を進めて紅山人の『不言不語』を英譯して英文雜誌に寄せて居る女史は

△大學卒業 當時に『小句の中の佳い物』と評された程小柄の利巧な人だ小石川高田老松町四三の自宅で記者に語る『女子が青年活氣の男生徒に英會話を仕込むのですから可なり困難です學問と人物との外に更に或るものがあつて生徒を心から敬服させねば到底教壇の人となるとは出來ません

△嚴しい中 にも親切を以て生徒に接する考へです本科の二年と四年とを擔當することになつて居ります一週に十時間ですが會話、練習に日本語を使つては駄目ですから初めから英語でやつてます褒める所は褒めてやるこゝにして居ます實は男學校ですからなる可く會話もプラクチカルと云つた風にやります』

◇朝晴雪と鶴(十八日朝昌慶苑にて)

□選歌
宮中歌御會始めに於て別項の如く御前披講の光榮に浴せし選歌左の如し(東京特電)

晴渡るひろのの雪に涯もなき御代の光の見ゆる今朝かな　東京市下谷區西町　澄宮御掛　立花寛德

打ち渡す裏の松原雪晴て滿ちたる潮に朝日さすなり　群馬縣山田郡境野村　中野善次郎

賑はへるなにはの都空はれて雪より昇る烟りかな　大阪府泉北郡南松尾村　萃ノ神社々掌　林(電文不明)

雪はみな野山のものとなり果てゝみよりに晴るゝけさの空かな　京都市今出川通幸町　武内萬右衛門

晴れ渡る雪の朝に見ることは世に清からぬものなかりけり　千葉縣香取郡小御門村　澤田惣平

去年の色は夜の間の雪に埋もれて昇る初日の影新たなり　岡山縣和氣郡香登村　岡竹はや子

千里まで晴れ渡りたる雪の上に年の初日の影ぞ輝く　大分縣速見郡別府町　高山ますよ

◎白米値上げ
四十錢臺突破
市内の白米小賣相場は是迄一等米四十錢を唱へ居りしが十七日より五厘方の値上を見結局四十錢五厘となれり

東京大相撲
春場所七日目
東京大相撲七日目(十八日)の主なる勝負左の如し

勝　負

龍ヶ峯(下手投げ)浪泉
野州山(預り)四海風
伊達錦(切り返し)朝緑
八重高(跨ぎ出し)太刀錦
鶴の海(むそう)鶴の濱
河久津川(押し倒し)佐賀錦
東雲(吊り出し)泉洋
長門洋(押し出し)荒石
紀の川(足取り)幡錦
友の川(叩き込み)若葉山
大岬(預り)宇都宮
大錦(突き落し)逆鉾
稲の甲(突き放し)小牛田山
八甲山(寄り倒し)朝見藤
白岩(寄り切り)綾川
岩木山(突き出し)神力
御西山(寄り倒し)士州山
駒泉(突き出し)大の高
紅葉川(突き出し)大門岩
藤の川(上手投げ)福柳
矢筈山(寄り倒し)宮城山
對馬洋(寄り切り)三杉磯
九州山(寄り切り)大鳴門
栃木山(寄り切り)琴ヶ浦

中入後

逆の矢(押し倒し)歌島
一の湊(下手投げ)阿蘇嶽
兩國(小手投げ)黒瀬川
釋迦嶽(打ちやり)若湊
源氏山(寄り切り)清瀬川
大錦(預り)大戸平
常の花(掛け投げ)千葉崎

右の内▲友の浦に若葉山は激しく突合ひ押し合ふ内叩き込んで友の勝▲宇都宮に大岬は右四つに組み宇都寄るを岬好く堪へ寄り返して二本差し鋭く寄り土俵際にて縺れ込む行司は宇都の打つ遣りと利きたりとなし軍扇を宇都に擧ぐ物言付き結局宇都に丸星岬に半星を與へて預り▲逆鉾に檣錦は逆左に敵の頭を攻めては引き落しを見するこゝ再三檣遂に隙け入り押し逆鉾の掬ひ投げ打つ途端樹引き落して勝ち▲大の里に小牛田山は小牛素早く二本差し、甲上手より押し土俵際にて突放して勝ち▲八甲山に朝見藤は四つ八甲掬ひ投げ見せつゝ寄り倒して勝ち▲綾川に白岩は白左差しで寄れば綾泉川に捲き捨んさせるも利かず白縺れ懸り寄り切つて勝ち▲岩木山に神力は激しく突き合ひ突き倒して岩木の勝▲御西山に士州山は左四つ寄り合ひ寄り倒して御西の勝▲駒泉に大の高は鋭く突き出して勝▲大門岩に紅葉川は一氣に突き出して大門の勝

▲福柳に藤ノ川は四つに組み福兩上手廻し引くや大きく上手投げ打つて藤危きところに立ち直り上手投げ打つて藤の勝は大喝采▲宮城山に矢筈山は宮二本差し鋭く寄れば矢筈寄り返し寄り倒して矢筈の勝(以下夕刊)

▽八日目取組
八日目(十九日)の取組左の如し

荒石—男島　今出川—大海　浪の櫻—峰[illegible]
獅子嶽—太刀海　陸地川—[illegible]錦　綾水川—射錦
若林—若[illegible]刀　大岬—友の浦　若葉山—逆鉾
長門洋—八甲山　朝見藤—達矢　檣錦—綾川
大の高—岩木山　取島—御西山　小牛田山—駒泉
大戸平—一の湊　大鳴門—釋迦嶽　矢筈山—源氏山
黒瀬川—大門岩　阿蘇嶽—常の花　千葉崎—九州山

中入後

清川—大錦　白岩—兩國　紅葉川—大の里
土州山—宇都宮

若湊—藤の川　福柳—宮城山　琴ヶ浦—對馬洋　三杉磯—栃木山

右の内黒瀬川に大門岩は本社懸賞の好取組なり

◎五千の野猿
襲來す
福井縣敦賀郡東郷村新保區は木芽峠下の村にて峠の山麓に散在し三面山岳に圍まれ戸數僅に三十戸の小部落で毎年降雪の季節は餌食不足のため時々多數の野猿人家近くに來襲するが本年も去る六七の兩日冬季の野猿來襲し程なく何れにか退散せしが又々十日は前日に數倍する約四五千の野猿大集團となりて六時頃より人家の軒に來り手當り次第に蔬菜等を食ひ散らし退散せず止むなく寺院の梵鐘を亂打し區民總出で退散せしめたり(敦賀)

◇サハラ皇帝
妻に射殺さる
其寢室に入らんとして
【紐育國際特電十二日發】例のサハラ皇帝と云ジャック、ルボヂーの妻はロング、アイランド州ウエスト、ベリーの自邸に於て夫ジャックが己の寢室に入らんとせしを拒み直ちに喜劇を演じ時の怒りに委せてジャックを射たるが中り處惡くしてジャックは敢なく落命したり

佛國の冒險家として嘗て阿弗利加のサハラに入り土民や富豪を集めて宮廷を造り王侯に擬し自らサハラの帝と號せしことあり後失敗して巴里に歸りしと記憶せるが後逃れて米國に在りしと見ゆ

◎福島縣下大火
百六十戸燒失
十七日午後五時福島縣白河町停車場附近より出火し折柄の強風に煽られ大神町金谷町の民家百六十四戸三百五十棟を灰燼に歸し同八時鎭火せり原因は機關車煙筒よりの飛火なりと(東京特電)

◎生活難で自殺
京城府黄金町七丁目四十二番地市斗泳(四八)は十七日午後九時自宅に於てストリキニーネを服用して自殺を遂げたるが同人は常に激烈なる胃病を病み居たると生計困難の爲め悲觀の結果右の始末に及びたるものにして屍體は檢視の上同人の妻に引渡したり

◎夫に死なれて
京城府[illegible]町百十六番地姜萬吉の妻金姓女(四三)は十四日夜自宅寢室に於て小刀を以て咽喉部を突き自殺を圖りたるも果さず苦悶し居たるを翌朝に至り附近の者が發見し隣家なる某病院に收容して手當を加へ漸く一命を取り止め得たるが同人は不具者にして三人の子供を擁し乍ら赤貧の生計を營み居たるに夫姜萬吉が十四日に死亡せしかば悲觀の結果自殺を圖りたるものなりと

◎碧巖集提唱
長沙洞妙心寺にては十九日午前十時より瑞巖大和尚の碧巖集第一則の提唱ある由

春場所星取表
(○勝　●負　や預　×引分　▲休)

東方　九勝四負五分二(?)

[illegible]	對馬洋
[illegible]	大錦
[illegible]	栃木山
[illegible]	九州山
[illegible]	常の花
[illegible]	福柳
[illegible]	宮城山
[illegible]	大門岩
[illegible]	源氏山
[illegible]	釋迦嶽
[illegible]	駒泉
[illegible]	西山
[illegible]	兩國
[illegible]	一の湊
[illegible]	岩木山
[illegible]	綾川
[illegible]	逆の矢
[illegible]	八甲山
[illegible]	大の里
[illegible]	逆鉾
[illegible]	宇都宮
[illegible]	友の浦

勝星八五負星四五

西方　[illegible]

[illegible]	伊勢濱
[illegible]	千葉崎
[illegible]	朝潮
[illegible]	錦洲
[illegible]	三杉磯
[illegible]	紅葉川
[illegible]	黒瀬川
[illegible]	大鳴門
[illegible]	大戸平
[illegible]	琴ヶ浦
[illegible]	若湊
[illegible]	大の高
[illegible]	小松山
[illegible]	矢筈山
[illegible]	土州山
[illegible]	敷島
[illegible]	鬼龍山

勝星四四負星七

◎大連寒氣酷し
大連にては降雪連日に亘り十八日は氣溫零下十九度積雪八寸に及べり(大連特電)

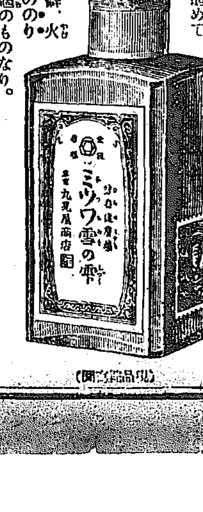
◎支那兵暴行事件
善後策協議
(既報)張家屯支那兵暴行事件に就き十八日正午より長春領事館にて新山領事代理、河野書記生支那側と

◎喫煙御遠慮被下度候
鐵道院では二月一日から車内に掲示を出す
食堂や寢臺車内では禁止した
鐵道院では來る二月一日から院線の電車及び汽動車内に於て喫煙の儀は御遠慮被下度候』といふ掲示を出して成るべく喫煙を遠慮して貰ふことにする外院線列車全部に亘つて食堂車及び寢臺を裝置した客車内の喫煙を禁止することこした右に就き當局は語る『昨今の交通機關は汽車と云はず電車といはず非常の混雜を來して居ることは知[illegible]合ふ中で喫煙されることは實に迷惑する處ですが絶對禁止するには夫々手續きもありますので乘客の公德心に訴へて成るべく遠慮して貰ふことにしたのです又食堂車や寢臺を裝置した後の寢臺車内などの喫煙も他の乘客が迷惑することは久しく耳にして居ましたが今回愈々禁止することにしました以上は皆二月一日から實行致します』

○ミツワ雪の雫
みつわゆきのしづく

本劑は皮脂を除き、硬化せる皮膚を柔滑ならしめ、肌理を細かにし、皮膚の血行を進めて其の色を艶麗ならしめ、健全なる皮膚の新生を促すが故に、之を常用すれば、皮膚を強壯清潔にならしめ其の美を發揮せしめ、皮膚乾燥、皸裂、凍傷、痤瘡、白癬、火傷等に奏效し又白粉下に用ふれば、白粉ののびを良くし、生彩ある化粧を施すに好適のものなり。

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする　芳香健膚料
定價金四十錢　内地以外は關稅運賃を加ふ



(現品縮寫圖)

○ミツワ花の雫
みつわ・はなのしづく

從來の家庭用香水には徒らに強烈なる香を放ち手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を悦ばするが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘すことなく肌着手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面器浴槽等に用ふれば、清凉の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

オー・ド・フラール　芳香馥郁たる家庭用肌着香水
定價金四拾五錢　大壜七拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

○ミツワ月の雫
みつわ・つきのしづく

優良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適すること◎ミツワ石鹸を以て毛髮を洗滌せる後此の◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を化め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脱毛ふけ雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり、故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり。

ヘーヤ・ローション　毛髮の榮養料頭髮用衛生香水
定價金五拾錢　大壜金八拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

○ミツワ椿油
みつわ・つばきあぶら

◎ミツワ椿油は冷製法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾出した新鮮純良な椿油で、普通の椿油と異り毫も苦味を含みません、平常此◎ミツワ椿油を使つてゐると『理想的滲透性不乾性油』と云つて毛髮に滲込む力が強いから、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸する結果、漂白と云つて、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂ひを除き、並つたり臭氣を發する等のことも無く、毛髮の發育を助け且つ色黑く艶を麗しくし、裂毛、折毛などの憂ひは決してないのである

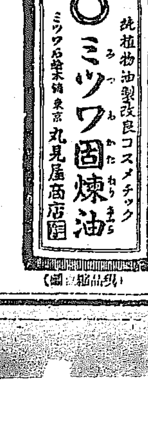
毛髮の衛生に適する新鮮純良の椿油
定價　小壜……金貳拾五錢　中壜……金七拾錢　大壜(五合入)……金三圓四拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

○ミツワ固煉油
みつわ・こすめちつく

本品は精良無比の◎ミツワ椿油を加へたるものにして、温雅なる芳香料を配合したる新式のコスメチックにして、從來のコスメチック或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髮を汚さず毛髮の發育を助け榮養を良くし其色澤を漆黑艶麗ならしむべき實用的美髮料なり。

本邦人に適する理想的改良コスメチック兼用鬢附油
定價金貳拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ



(現品縮寫圖)

○ミツワブリリアンチン

本品は◎ミツワ椿油を基礎とし、之に品質優等香氣温雅の香水を配合せるものにして、凝脂して用ふれば毛髮の病の源を除き、更に毛髮の發達を良くし其の色澤を漆黑艶麗ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與ふる毛髮の眞美の發揮に最も要の模範的美髮料なり

◎ミツワ椿油に馥郁たる香水を配合せる模範的美髮料
定價金五拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

大阪三品特電

東京期米特電

仁川米豆取引所

[illegible]

（八十三）

北島春石作　森田久畫

朝風 (三)

伊東は伊豆半島の東海岸に在る一勝區、冬ながらも春のやうに凪いで一波動かず、晴れた太陽の光に輝く青海原の左手を見れば、宇佐見の大崎、眞鶴ヶ崎、遠くは相模の連峯までも望まれ、右手にはまた新井崎かけて鼬吹き岩、それに接したのが亭子島。又三里の沖合には初島の青螺波に浮かび、水や天なる潮路の果てには房總の諸山が霞よりも淡く、岸には白砂青松が相連なつて、まづは理想に近い遊覽地である。

志保子の案内で、この海岸まで立出でた昇一郎は、瀟風に二三度吹き消された後、やう／＼マッチの火を葉巻に移し、ゆるやかに紫の煙を吐きながら、

『なる程。』と、さも感服したやうに左見右見『伊豆も熱海より奥へ入れば、碌な温泉地もあるまいと思つてゐたが、こゝの景色はなか／＼感じ好く纏つてゐますね。』

『わ、毎日見馴れた人にはさほどでも無いでせうが、わたくしには熱海より却つて廣々してゐるやうに思はれます。』

『さう!!これなら貴女の御病氣も全快した筈だ。』と、女の方に笑顔を向けて『唯もう少し交通の便がいゝと、小さな別莊ぐらゐは建てゝもいゝのだが、湘南地方と違つて些と不便すぎるやうだ。』

『さうですわね。』と志保子は雅やかに『逗子や葉山あたりですと東京から一日に二三度づゝも往復されますが、然う遠くまで離れましたら、土曜から日曜にかけてと手輕にもまゐりませんので……』

『ぢや、近々に逗子あたりに別莊でも新築しますかね。』

『ですが、それも別に關係がない事でございますから……』

『關係が?』と鸚鵡返しに、昇一郎はじつと志保子を見入つた。そして、強く葉巻を一喫した後、『無論、今では別に關係がないと言はれるが、やがて高松と神崎の兩家は、親戚のうちでも最も親密な御交際を願はなくばならんのです。この際、もう秘密として置く必要もないからお伺ひするが、總ての件はお父さんからお聞きなすつたでせうな。』

『…………』

『何うですか。』と重ねて『其件に就て何ういふお考へか、貴女の腹藏ない氣持ちを聞かせて下さらんか。』

昇一郎から二度までも促されて志保子も無言でのみは濟まされなかつた。いや、自分の心が更にすまぬながら、男の案内してこの海岸まで來たのは、父親が何と言ふかたくみに欺いてゐるかは知らねど、今までの悲慘を極めし身の上を打明けんとすればこそ

その思案は、宿の暖香園を立出でし折より定まつてゐたのだが、いざとなればさ、おいそれとも打明けられなかつた。けれど、こゝは詰らぬ羞耻心にのみ囚はれてゐる場合ならずと、志保子もついに思ひ切つて口を開いた。

『ね、實は。』と、靜けき海の景色を眺めんとはせず、白砂を踏む我脚下を眺めつゝ、『わたくし、神崎さんの御縁談については、あの父から毎々聞かされて居りますが…………』

『さうですか。』と心たのしさに面も晴々と『それを知つて僕も非常に滿足です……で、貴女は御承諾くださるでせうな。』

『いゝえ、わたくしだけはお斷りいたしたいと存じまして…………』

『何ですと?』

『神崎さん……わたくしのやうな、何一つ取得のないものを、さうまで思召して下さるお志しのほどは、幾重にもお禮の申上げやうもございませんが、どうぞ無き縁とお忘れを願ひます。』

昇一郎はじつと女を眺めた。

『すると、僕に貴女の良人たるべき資格がないと言はれますか。』

『いゝえ、さんでもない事を仰有います。』

『ぢや、こちらから是非にと申入んだ縁談を、貴女が拒絶なさる理由を聞かせては下さらんか。』

牛乳　朝鮮ホテル病院御用　岡野牧場　京城東四軒町　電話一〇六九番

電話賣買　萬年社　京城明治町一丁目　電話一八四四番

◎鮮人教員内地視察團より (承前)

◇日光驛に着すれば町よりも人を派せられ小學校よりも出迎はれ居り此處にも亦歡迎の誠意に浴し申候電車にて神橋に近き旅宿にまゐり直ちに東照宮參拜に赴き申候宮の事務所にては殊に一行の觀覽料を免ぜられし上に朝陽閣にて茶菓を饗し大に歡待せられ候には感謝々天に聳ゆる老杉の中に樓閣殿堂廊廡甍一起伏斷續し布置結構の妙を極め彼此照應し甲乙重厝してよくその調和を保ち鏤刻の精と塗堊丹青の妙とは誠に言語に絶すと可申團員一同たゞ夢心地にて拜觀仕り候續いて二荒神社大猷院廟にも詣で寶物館をも一見して湖畔旅宿に歸り夜は大谷川の瀬聲に夢をさそはれつゝ靜かに眠りに就き申候

◇翌日は半日の時間を利用して中禪寺湖を見んと欲し早朝特發の電車にて馬返しにまゐりそれより徒歩し蛇行の順路を捨林間の間道を笹を分け疎林の間を行くこと誠に一種の風趣を感じ申候約一時間にして華嚴瀧を伏瞰するところに達し申候今や冬にて水瀧は減じたりと申せども高鮮の水直下數十丈壯觀いふに及ばず候殊に崖頭の木々枯葉を振ひ落したれば山容岩狀すべて見るを得瀑頭の清流の屈回曲折する樣をも見られ却つて蕭疎清寂一幅の南畫を見る心地いたし候只それ瀧壺より飛騰する水氣折からの寒さにて霜花を結び樹の容枝に時ならぬ花をつけ旭光これに映じて櫻花よりも麗なるに至りては到底他の季節には見られざる奇景にて恐らく冬の華嚴の美は世人の知らざるところかと被存候一行の意外の仕合を喜び申候中禪寺湖畔に立ちて眺望を擅に致し候が湖面誠に鏡を磨きて四山を涵し微風動かず細波起らず一鳥鳴かず飛ばず閑寂清寂湖山の氣人に迫りて仙たらしむるかと存候歸途疾風を驅て林間野猿の遊ぶを見て皆々珍らしがり候も一興

◇午後二時半この靈域を辭し宇都宮のあたりにて男體山を望み別れを告げつゝ車を小山にて代へ兩毛線に入り足利相生伊勢崎等を車上にながめつゝ何時しか夜となり申候車遲れしがため高崎にて篠井にても辛うじて車を乘り代へ得たる次第に候碓氷の隧道も淺間の火山も見るに由なく有名なる木曾溪谷の幽景壯觀も全く夜暗の中に通り過ぎたるは旅程上止むを得ざることながら誠に殘念に被存候車は進むまゝ數日前に見たる名古屋城をなつかしみ美濃に野の耕地繁殃たるを感じ琵琶湖の温雅なる冬景色に親しみ瀨多の長橋の案外短きを喜びつゝ竹林多き逢坂山附近の景色を懐しがりつゝ憧憬したる京都に着きたるは午後二時半に候ひき

京呉服　京都たまや出張店　明治町二丁目　電話二一九六

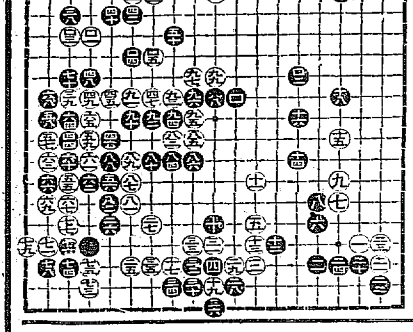
日報柳壇
=劍花坊先生選=

京言葉軍をするに手間がこれ　丁六
京々と云ふ田舎に京もあり　重春
イギリスの都の空は曇り勝ち　同
花咲いて都の町の人通り　同
東京へやつたが親の落度也　鯉春
京訛油斷のならぬ女なり　同
東京へ打つ電報はスグカエレ　厄介坊
東京の粋々と畑を打ち　同
京城のバーに内地を食ひ詰て　鴻の坊
丸の内段々江戸に遠ざかり　劍坊

◎實業講習錄の發展　商店や銀行へ入りても小學卒業だけの學力では成世の準備と素養に乏しい爲め立身榮達が出來ない、東京實業之日本社は是等の人々の爲に從來『實業講習錄』を發行してゐるが卒業生も數十萬に達し今や銀行又は商店に於て重要の地位をしめるに至つた人も亦極めて多いと聞く、今や歐洲大戰の生める經驗に鑑み、講義全部を改正し新に勞銀問題も加へ相和する増加せり。全文總振假名で誰讀めるきで大好評を博しつゝある實際的なもので、苟くも實業に志す年若き商店銀行會社工場員女事務員、小林下にては立身出世の手引き草なり、聞く所に依れば目下新學期始まりに好機を逸せず入會希望の方は同社宛にハガキで『見本』を請求さるべし、無代進呈すと

碁戰 (七)

三段　山平
二子　白南圭



手	位置
○九一	か九
●九二	わ一〇
○九三	を九
●九四	な一〇
○九五	ろ一〇
●九六	る九
○九七	る八
●九八	ぬ九
○九九	ぬ八
●一〇〇	り九
○一〇一	た六
●一〇二	へ八
○一〇三	れ六
●一〇四	か七
○一〇五	わ七

新刊紹介 (到着順)

◎東京工科學校落成式　昨年八月火災の厄に罹りし同校は神田錦町なる舊校跡に八百餘坪にて最新式數學階設備模範的の三階建校舎落成三月六日から學期開始目下生徒募集中

▲時事評論(二四の二)　米國ルウァソン氏の世界改造(社説)、事問題と代表意見(湛浮男外三氏)、西財界代表十人論、評論、勞働問題研究、民間史論等(三十一錢、東京四谷區仲町三の三八一社)

▲抒情詩(十年一號)　詩、歌、思想、論その他文藝の知名なる文士の執筆せるもの多く清新の趣味一充つ(二十八錢、東京小石川白山御殿町一二一抒情詩社)

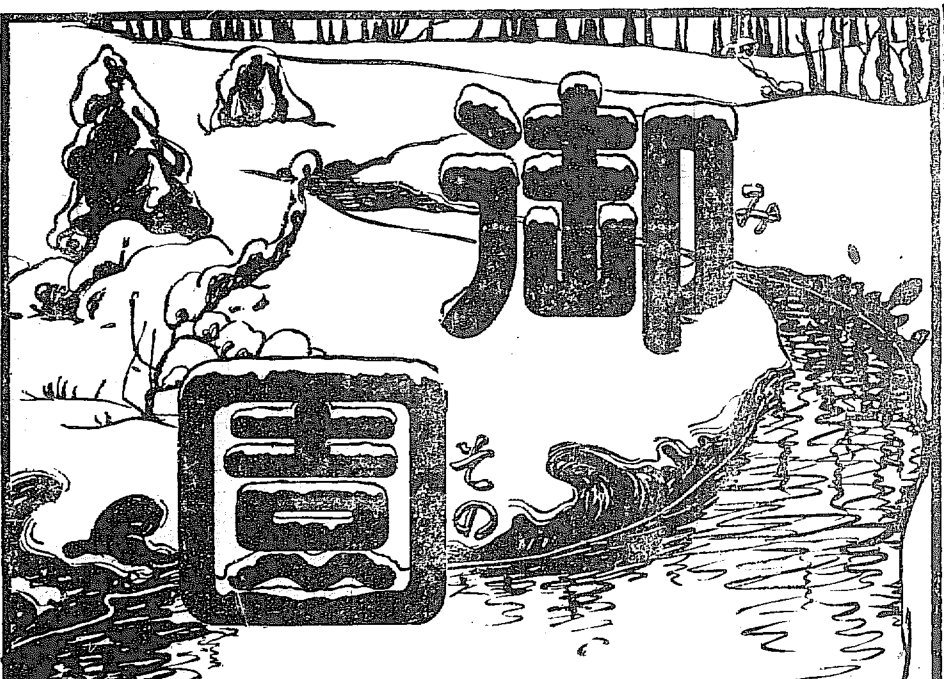
▲中央佛教(三の二)　佛教界に於ける名家の說を豐富に掲載す(各宗務聯合社(二十五錢)、東京牛込矢來町一社)

▲有効の活動(五の二)　柔道と題せる雜誌にして講道館一門の名流が斯道發達の爲めになしたる有益なる多方面の談話多く、柔道の趣味を解せざるものにても讀んで興味を感ずべき雜誌なり(廿錢、東京小石川大塚坂下町柔道會)

▲去る十一日土曜日光化門郵便局へ御出でになつたお方で萬年ペンを御忘れになつた方はありませんか、御親切な方が其れを見つけ下すつて郵便局の窓口へ差出して下さいましたから預り申して居ります。便宜上其の萬年ペンの名を御忘れになつた凡その時刻を御聞き申した上で御渡しいたしたいと御待ち申して居ります(光化門郵便局係)

▲南大門驛と[illegible]の新聞紙一通[illegible]て委細承知仕候[illegible]御參考[illegible]用ある時は[illegible]時間前に望む(二)[illegible]迄に右に掲げ申(一)[illegible]い旅館の客引の如きは構内に禁止し撤[illegible]構外に整列さす事(一)急行列車[illegible](一)プラツトホーム内に所々に小待合を望む(一)[illegible]荷物受取口の[illegible](一)[illegible]には對に各々別紙に置く必要があります(係)

▲[illegible]あります(係)今年より讀者文[illegible]川柳、柳樽、俳句等御寄集[illegible]之樣に受けられ候が御殘りの事と相候や(峯菜町人)△蓬莱町人へ川柳は前に劍花坊先生選として欄を設けまし[illegible]



日本で一番良い白粉は……

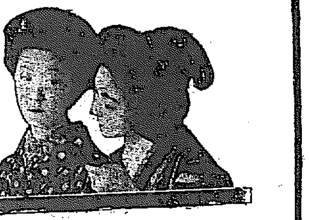
白粉の種類は隨分澤山御座いますが、一番良い白粉は、御存じの通り、何時でも皆樣の御鏡臺や御化粧棚に載せられて、一番親みの深い高貴御料の光榮に浴する御園白粉で御座います。

何故一番良のでせうか……

御園白粉は普通の白粉よりも原料が純良いのでノリとノビがよく、誰方の肌にも至つて手輕に濃くも淡くも思ひの儘に美しく若き、御化粧榮えは如何にも上品で、奥床しく見えるからです。

御料御園白粉本舗　伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元　丸見屋商店

(559)

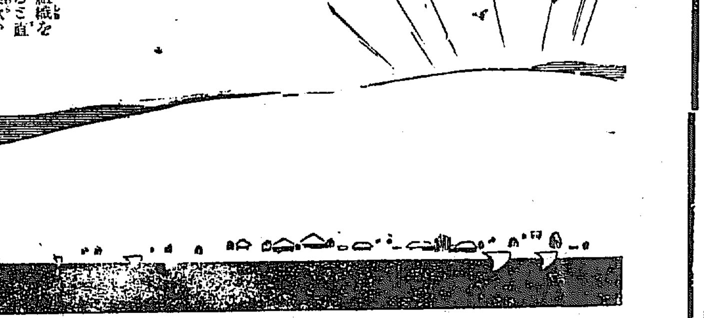


朝晴れのしたやうに素顔を生々とし

ホンノリ色白くなる

レートフード

荒れを止め
色白くなる
整美の作用

レートフードの主成分は、皮膚の根本組織を整へる力を持つて居りますから、附けると直ぐ地肌に吸收まれ、肌理を整へお肌を柔軟ける上に色艶を美くし、ドンナ寒風に當つても肌荒れ致しません。其上、副成分の新美容素の作用はホンノリ色白く致しますから、此季節の素化粧料、隱化粧料として實に天下一品でムいます。

東京
大阪　平尾賛平